

歴史に憩う橿原市博物館 館報 9

令和4年度



2024（令和6）年2月

## ごあいさつ

橿原市には、原始以来の先人の営みが大地に刻まれた、史跡新沢千塚古墳群、特別史跡藤原宮跡や、江戸時代の建造物が数多く建ち並び、当時の町並みを今に伝える重要伝統的建造物群保存地区今井町をはじめとする、優れた歴史遺産が随所にみられます。

本市では、このような貴重な文化財の保護と活用に取り組んでおり、新沢千塚古墳群公園整備事業の先駆けとして、「歴史に憩う橿原市博物館」を開館いたしました。

博物館の前身は、1976（昭和 51）年の新沢千塚古墳群の史跡指定が契機となり、財団法人大和歴史教育センターが建設され、1978（昭和 53）年に開館しました橿原市千塚資料館です。博物館は先の資料館と同様に、隣接する新沢千塚古墳群のサイトミュージアムとしての位置付けはもちろんですが、本市を代表する縄文時代の終わり頃から江戸時代までの、二千数百年にわたる遺跡出土資料の展示を通し、本市の歴史の息吹を体感しながら楽しく学んでいただくことをモットーにしております。

また、来館者一人一人に合う展示資料の紹介と、本市の豊かな歴史遺産への訪問をサポートする、斬新なパーソナルガイドを全国で初めて設置しました。

今後も、気づきと学びに満ちた、魅力溢れる博物館を目指して博物館活動を行ってまいりますので、皆様の幾度とないご来館をお待ちしております。

2024（令和 6）年 2 月

歴史に憩う橿原市博物館

# 目 次

1. 施設の概要	1
2. リニューアルオープンに至る経緯と館の名称	3
(1) リニューアルオープンに至る経緯と経過	3
(2) 橿原市千塚資料館から歴史に憩う橿原市博物館への改称	3
(3) 展示の方針	4
3. 展示	4
(1) 常設展示室	4
(2) 特別展示室	5
(3) ロビー展示	5
4. 特別展・企画展	6
5. 体験講座、橿原市イベント、市外出前体験講座等	9
6. 定期講座	11
7. 学校等校外学習、修学旅行学習、視察、博物館実習、職場体験学習、資料調査、古墳石室見学、 所蔵資料等の撮影の受け入れ	12
8. ボランティアガイドスタッフによる解説	15
9. 観覧者	16
10. 歴史に憩う橿原市博物館メモリアルウィーク	16
11. 所蔵資料の活用	17
12. 刊行物一覧	21
13. 講師派遣	21
14. 利用案内	23
15. 展覧会来館者アンケート	24
16. 条例、規則	31

## 1. 施設の概要

歴史に憩う榎原市博物館は、1978（昭和53）年12月3日に開館した榎原市千塚資料館を改修し、名称も「歴史に憩う榎原市博物館」に改め、2014（平成26）年4月1日にリニューアルオープンした博物館である。建物は鉄筋コンクリート造りの中3階2階建である。面積は1階629.53㎡、2階603.74㎡、中3階37.83㎡で、全体の延べ床面積は1,271.10㎡である。歴史に憩う榎原市博物館は、榎原市教育委員会生涯学習部歴史に憩う榎原市博物館の所管である。

### 歴史に憩う榎原市博物館の概要

名称	歴史に憩う榎原市博物館	
所在地	榎原市川西町 858 番地の 1	
建物展示改修設計費	7,119,000 円	
建物展示改修設計者	(株)榎谷設計	
建物改修工事費	285,440,190 円	
建物改修施工者	(株)鍛冶田工務店・(株)平成建設特定建設工事共同体	
展示改修工事費	155,400,000 円	
展示改修施工者	(株)乃村工藝社	
面積	1,271.10㎡	
	・展示室（2階）	
	常設展示室1（かしはらの夜明け）	28.23㎡
	常設展示室2（新沢千塚とその時代・藤原京の世界）	175.00㎡
	常設展示室3（京との訣別 - 新たな歩み - ）	44.10㎡
	特別展示室（特別展・企画展開催）	77.44㎡
	ガイダンスホール	28.28㎡
	エントランスホール（受付含）	70.12㎡
	廊下	51.58㎡
	スタッフルーム	13.83㎡
	図書閲覧コーナー	21.17㎡
	授乳室	6.94㎡
	機械室	15.34㎡
	その他	71.71㎡
	・収蔵庫・事務室等（1階）	
	特別収蔵庫	37.50㎡
	収蔵庫	70.40㎡
	体験スタジオ	37.50㎡
	事務室	67.50㎡
	資料整理室1（図面作成・資料管理等）	36.44㎡
	資料整理室2（遺物整理）	61.13㎡
	会議室1	16.80㎡
	会議室2	17.16㎡
	ロビー	100.00㎡
	荷解場（借用資料搬入出）	36.38㎡
	機械室	13.50㎡

- その他 135.22㎡
- ・中3階
- その他 37.83㎡



消火設備 ハロゲン化物消火（特別展示室・特別収蔵庫）

映像 ガイダンスホール…60型モニター1台・19型タッチパネルモニター埋め込みタッチパネル2台（「かしはらの魅力」信仰のかたち～陵墓・社寺・大和三山～、歴史の面影～遺跡と風景～ 各3分・「あなたへのおすすめガイド」）

常設展示室2（新沢千塚とその時代・藤原京の世界）…大型スクリーン（「新沢千塚とその時代」・「藤原京の世界」各3分）

グラフィック 20枚…ガイダンスホール4枚、エントランスホール3枚、常設展示室1（かしはらの夜明け）3枚、常設展示室2（新沢千塚とその時代・藤原京の世界）7枚、常設展示室3（京との訣別 - 新たな歩み - ）3枚

壁面説明パネル 12枚…常設展示室1（かしはらの夜明け）4枚、常設展示室2（新沢千塚とその時代・藤原京の世界）3枚、常設展示室3（京との訣別 - 新たな歩み - ）5枚

台上説明パネル 55枚…常設展示室1（かしはらの夜明け）9枚、常設展示室2（新沢千塚とその時代）13枚・（藤原京の世界）11枚、常設展示室3（京との訣別 - 新たな歩み - ）22枚

台上クイズパネル 16枚…常設展示室1（かしはらの夜明け）4枚、常設展示室2（新沢千塚とその時代）4枚・（藤原京の世界）4枚、常設展示室3（京との訣別 - 新たな歩み - ）4枚

展示資料キャプション 31枚

展示資料ナンバー表記物 258個

常設展示室・特別展示室ケース・ステージ

展示室（室名）	ケース等	数量	寸法（mm）		
			W	D	H
展示室 1 かしはらの夜明け	据付壁面 L 型ステージ	1	1200	9000	750
展示室 2 新沢千塚とその時代 藤原京の世界	据付壁面ステージ	1	1200	9000	750
	据付壁面半楕円型ステージ	1	1200	16760	750
	行灯ケース	3	600	600	2100
	薄型 5 面ガラスケース	6	350	800	2700
展示室 3 京との訣別	据付コ字型ステージ	1	900	14400	750
特別展示室	据付壁面ケース（エアタイト）	1	1400	6750	3000
	行灯ケース（エアタイト）	1	900	900	2100
	5 面ガラスケース（エアタイト）	3	1200	1800	2700
	平覗きケース（エアタイト）	2	900	1800	1050

## 2. リニューアルオープンに至る経緯と館の名称

### (1) リニューアルオープンに至る経緯と経過

2011（平成 23）年 7 月 26 日 千塚資料館大規模改修工事基本・実施設計着手  
 2012（平成 24）年 2 月 29 日 千塚資料館大規模改修工事基本・実施設計完了  
 2012（平成 24）年 6 月 21 日 千塚資料館大規模改修工事着工  
 2012（平成 24）年 7 月 27 日 千塚資料館展示改修業務着手  
 2012（平成 24）年 10 月 31 日 千塚資料館展示ケース製作及び設置業務着手  
 2013（平成 25）年 3 月 15 日 千塚資料館大規模改修工事完了  
 2013（平成 25）年 12 月 26 日 橿原市千塚資料館から歴史に憩う橿原市博物館に改称  
 2014（平成 26）年 2 月 21 日 千塚資料館展示改修業務・展示ケース製作及び設置業務完了  
 2014（平成 26）年 3 月 29 日 リニューアルオープン記念式典  
 2014（平成 26）年 4 月 1 日 リニューアルオープン  
 2014（平成 26）年 7 月 2 日 博物館法に規定する登録博物館原簿に登録（第 15 号）

### (2) 橿原市千塚資料館から歴史に憩う橿原市博物館への改称

博物館は先の資料館と同様に、隣接する新沢千塚古墳群のサイトミュージアムとしての位置付けはもちろんのこと、本市を代表する縄文時代の終わり頃から江戸時代までの、二千数百年にわたる遺跡出土資料の展示を通し、本市の歴史の息吹を体感しながら楽しく学ぶことができる「地域に根ざした博物館」を理念に事業を着実に展開していくことを目指した。

そして、奈良県立橿原考古学研究所 菅谷文則所長から、“人と人のつながりの真ん中に歴史があり、歴史を体感できる博物館として、まさに市民のサロンとなるよう。”との想いを表す「歴史に憩う博物館」の館名をご提案いただき、「橿原市千塚資料館」から「歴史に憩う橿原市博物館」に改称した。

### (3) 展示の方針

常設展示、特別展・企画展、ロビー展示を以下の方針を定め、おこなうこととする。

1. 橿原市の歴史文化を語るうえで新沢千塚古墳群と藤原宮跡を中心に造営されたわが国最初の都城藤原京がもっとも重要であることから、これら二つの歴史遺産を骨格に、この地に人が暮らし始めた縄文時代から江戸時代までの歩みを遺跡出土資料・グラフィック・パネル・映像を用いて紹介し、見学者に本市の豊かな歴史文化に親近性を抱いてもらう。
2. 展示資料は基本的に橿原市の所蔵品で構成し、一部を他機関から借用する。
3. 展示資料は実物資料を原則とする。ただし、本市の歴史文化を語るうえで不可欠な資料であって、他機関所蔵で借用が不可能である場合においては、復原模造品・レプリカとする。
4. 見学者が展示資料を間近に鑑賞することで、展示資料がもつ造形美や質感を感じとることができるようにする。ただし、脆弱な展示資料に限って最小限度の小ケースを用いる。
5. 展示資料と同等の実物資料に直接接触れるコーナーを設置することで、見学者が展示資料をより深く観察し、製作者の思いや当時の社会の息吹を体感できるようにする。
6. 特別展示室では、本市の歴史に関わる各地の重要な資料を展示する特別展や企画展をおこなう。
7. 常設展示とは別にロビー展示をおこなうことで、些細な歴史事象についても関心を抱いてもらえるようにする。
8. 展示の解説は、ボランティアガイドスタッフと協力しておこなう。

## 3. 展示

### (1) 常設展示室

#### 展示室の概要

常設展は橿原市が歩んできた歴史のなかで、本市はもとより日本の歴史を語るうえで最も重要な歴史遺産である新沢千塚古墳群、藤原京を中核に据えながら、本市に人々が集住しはじめた縄文時代晩期から江戸時代までの通史を紹介し、見学者に本市の豊かな歴史・文化を身近に感じていただけるものとしている。

展示室は3室で構成され、展示総面積は247.33㎡、展示資料の総点数は831点である。このうち実物資料382点（奈良県立橿原考古学研究所附属博物館借用資料30点を含む。）、復原模造品444点、レプリカ3点、模型1点、標本（菖蒲池古墳土層断面剥ぎ取り）1点である。

各展示室にはコーナータイトルを付け、見学者に展示意図を明快に伝えるようにしている。

#### 常設展示室1

コーナータイトル「かしはらの夜明け」と題し、本市に人が集住しはじめたことが明らかである縄文時代晩期から、稲作の開始によりこの地が豊かに発展する土壌を築いた弥生時代の歴史を紹介する。





常設展示室 2

最大の展示面積を有す室で、古墳時代と日本初の本格的な都城である藤原京を紹介する。古墳時代はコーナータイトル「新沢千塚とその時代」と題し、新沢千塚 126 号墳復原模造品（現品は重要文化財で東京国立博物館所蔵）を中心に一部新沢千塚古墳群の実物資料（奈良県立橿原考古学研究所附属博物館から借用）を含め朝鮮半島との交流を示す資料、古墳時代の終焉を示す植山古墳出土資料展示により古墳時代の歴史を紹介する。

日本初の本格的な都城である藤原京に焦点をあて、コーナータイトル「藤原京とその世界」と題し、現代に続く社会の規範を築き上げたことを紹介する。



常設展示室 3

コーナータイトル「京との訣別 - 新たな歩み - 」と題し、平城京遷都後、この地で織り成された奈良時代から江戸時代の歴史を紹介する。

## （2）特別展示室

本市が歩んできた歴史の一端を表す資料を素材に、各地で出土した関連資料の一体的な展示を通し、歴史における共通性や地域毎の独自性を分かりやすく紹介し、わが国の豊かな歴史・文化を身近に感じていただけるようにする。展示は、1年3回（特別展1回、企画展2回）開催する。



#### 4. 特別展・企画展・ロビー展

企画展2回（奈良県立橿原高等学校共催の博学連携企画展1回を含む。）、特別展1回を下記のとおり開催した。なお、ロビー展は開催しなかった。

##### (1) 博学連携企画展 奈良県立橿原高等学校×歴史に憩う橿原市博物館

奈良県立橿原高等学校×歴史に憩う橿原市博物館

『弥生 ART を科学するⅡ－弥生人のみたもの－』

〔内 容〕 学校と博物館を結び、歴史教育に寄与することを目的に、当館では平成28年度から奈良県立橿原高等学校と共同で博学連携企画展を実施している。弥生時代の絵画をテーマに、そのテクニックや工夫について、データ比較を通して明らかにし、弥生時代の絵から、弥生人の視点や絵を描く方法を解明する。

〔期 間〕 2022（令和4）年3月26日（土）～2022（令和4）年6月19日（日）

〔観覧者〕 1,559人（令和4年度分）

動画視聴回数 204回

〔関連イベント〕

展示解説動画の公開

##### (2) 夏季企画展 『「怖い」に立ち向かえ』

〔内 容〕 古代～中世を中心とした奈良県内の遺跡で見つかった「怖い」に関わる資料をかぎに、人々の「怖いもの」との関わり方を探る。「怖い」とは何か？を追求し、「怖い」を通じて過去と現在をつなぐことを目的にした展覧会である。

〔期 間〕 2022（令和4）年7月16日（土）～2022（令和4）年9月19日（月・祝）

〔観覧者〕 932人

動画視聴回数 203回

〔展示構成と展示資料〕 展示資料総点数72点

コーナー1「私たちの「怖いもの」とその理由」

災害・事件等の新聞記事をパネル展示。

コーナー2「昔の人は何が怖い？」

五位遺跡（当市） 土師器5点

中曾司遺跡（当市） 絵画土器1点

藤原京跡（当市） 土馬7点

国分寺跡（当市） 骨蔵器2点、燈明皿2点

曲川遺跡（当市） 土器棺1点

新堂遺跡（当市） 鬼面墨書土器1点

コーナー3「「怖い」に立ち向かう」

平城京跡（奈良県立橿原考古学研究所）

人面墨書土器3点

藤原京跡（当市） 人面墨書土器2点、

土馬7点、木製人形4点

片岡王寺跡（奈良県立橿原考古学研究所）

鬼瓦1点

平城京跡（奈良県立橿原考古学研究所）

土師器1点、和同開珎2点、ガラス玉1点、

水晶片1点、須恵器1点



曲川遺跡（当市） 鏡 1 点

南曾我遺跡（当市）

犬形土製品 1 点、火打石 2 点

コーナー 4「一番身近な怖い場所」

藤原京跡（当市） 斎串 4 点、土師器 1 点、須恵器 1 点

南曾我遺跡（当市） 移動式竈 1 点

コーナー 5「人間は「怖い」」

曲川遺跡（当市） 石鏃 2 点

南山 4 号墳（当市） 鉄鏃 1 点

今井寺内町（当市） 鉛玉 1 点

八木町地内（当市） 弾丸 1 点

四分遺跡（奈良文化財研究所） 土坑墓写真

〔関連イベント〕

展示解説動画「「怖い」に立ち向かえ」の公開

体験イベント「イコハク Labo. 藍の生葉染めでTシャツを彩ろう」の開催

## （2）秋季特別展『日本爆誕！壬申の役』

〔内 容〕 令和 4 年は、飛鳥時代最大の内乱であった壬申の乱が起こって 1350 年目の節目の年であった。乱に勝利した大海人皇子、後の天武天皇が進めた国づくりを追うことで、日本国の誕生の様子を伝えた。展覧会では、勝者であった大海人皇子の立場で、「壬申の乱」ではなく「壬申の役」とした。飛鳥・藤原地域で見つかった資料から、役の前後で大きく変わった日本の姿を紹介した展覧会である。

〔期間〕 2022（令和 4）年 11 月 19 日（土）～ 2023（令和 5）年 1 月 29 日（日）

〔観覧者〕 1,174 人

動画再生回数 212 回

〔展示構成と展示資料〕 展示資料総点数 63 点

コーナー 1「壬申の役とは？」

壬申の役の概要、関連年表及び、役に関連する市内遺跡等をパネル展示。

飛鳥寺跡（奈良文化財研究所） 馬鈴写真

神武天皇陵（宮内庁） 写真

中ツ道（当市） 写真

雲梯町河俣神社（撮影協力雲梯町） 写真

見瀬町牟佐坐神社（撮影協力見瀬町） 写真

コーナー 2「天武天皇以前の時代～絶対的支配者の誕生」

雷丘東方遺跡（明日香村教育委員会）

墨書土器 1 点

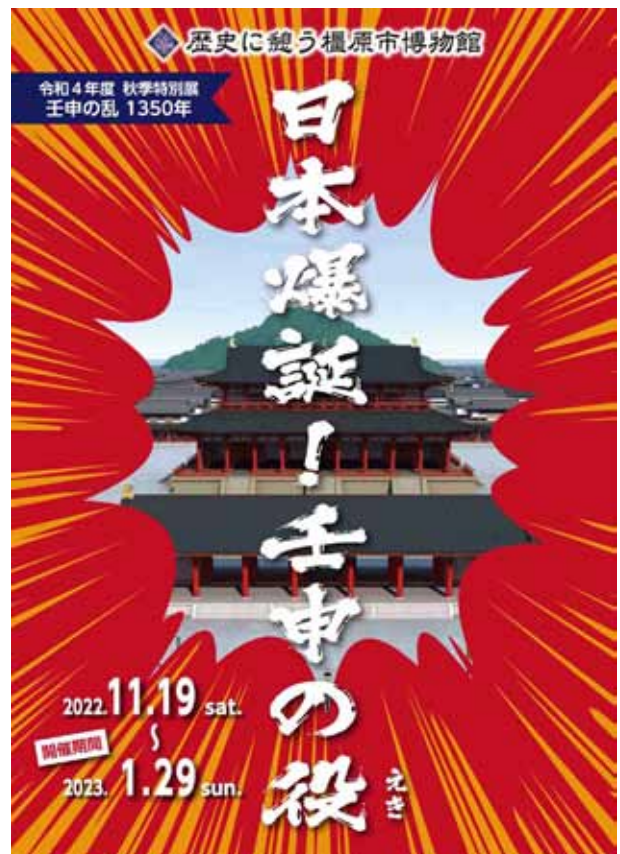
飛鳥宮跡（橿原考古学研究所附属博物館）

土師器 4 点

森カシ谷遺跡（高取町教育委員会）

土師器 2 点、須恵器 2 点

酒船石遺跡（明日香村教育委員会）



砂岩 3 点

コーナー 3 「日本爆誕！」

東田井ノ坪 1 号墳（当市） 朝顔形埴輪 1 点、埴輪片 5 点

藤原京跡（当市） 柱材 3 点、庶民の食事復元模型 1 点、鉄斧 1 点、漆塗椀 1 点、漆塗皿 1 点、漆塗匙 1 点、唐三彩片 1 点、新羅土器片 1 点、木簡 3 点、鳥形 1 点、土師器 4 点、須恵器 4 点

藤原宮跡（奈良文化財研究所） 軒丸・軒平瓦写真

飛鳥池遺跡（奈良文化財研究所） 木簡写真

コーナー 4 「爆誕その後～現在の日本にも生きる爆誕」

平城京跡（奈良市教育委員会） 無文銀錢 1 点

谷遺跡（桜井市教育委員会） 無文銀錢 1 点

藤原京跡（桜井市教育委員会） 富本錢レプリカ 1 点

藤原京跡（当市） 和同開珎 1 点、木棺 1 点、鑄棹 1 点、須恵器 1 点、分銅 1 点、木棺 1 点、貞観通宝 1 点

飛鳥池遺跡（奈良文化財研究所） 富本錢と鑄棹写真

平城宮跡（奈良文化財研究所） ものさし写真

藤原宮跡（奈良文化財研究所） 木簡写真

〔関連イベント〕

講演会の開催

第 1 回「壬申の役と日本の成立」 講師：杉山真由美（当市文化財保尊活用課 主査）

開催日時 2022（令和 4）年 12 月 17 日（土）午後 1 時 30 分～午後 3 時

開催場所 シルクの杜 教室 3

参加者 55 人

第 2 回「壬申の乱と『懐風藻』」 講師：土佐朋子氏（佛教大学文学部 教授）

開催日時 2023（令和 5）年 1 月 28 日（土）午後 1 時 30 分～午後 3 時

開催場所 シルクの杜 教室 3

参加者 67 人

講演会内容の動画「壬申の役と日本の成立」の公開

**（3）博学連携企画展 博物館実習生×歴史に憩う橿原市博物館『これ、おもしろ。知らんけど。』**

〔内 容〕 学校と博物館を結び、歴史教育に寄与することを目的に、当館では平成 28 年度から博学連携企画展を実施している。今年度は、令和 4 年度の博物館実習生と共同で、展覧会を企画した。様々な専門分野の実習生の視点から、考古学の枠にとらわれない資料の楽しみ方を提案することを目的として展覧会である。

〔期 間〕 2023（令和 5）年 3 月 25 日（土）～2023（令和 5）年 6 月 18 日（日）

〔観覧者〕 73 人（令和 4 年度分）

動画視聴回数 展覧会開催予告【vol.1】108 回、【vol.2】116 回

〔展示構成と展示資料〕 展示資料総点数 30 点

前室

坪井・大福遺跡（当市） 土偶 1 点

コーナー 1 「ようこそ、「おもしろ。」の世界へ」

絵画（個人蔵）1 点

コーナー 2 「「これ、おもしろ。」のめばえ」

- 藤原京跡（当市） 籌木 2 点、箸 1 点  
 今井寺内町(当市) 磁器 1 点、写真パネル 1 点、  
 ガラス瓶 4 点、人形 1 点  
 国分寺跡（当市） 骨蔵器 1 点  
 現代陶器（個人蔵） 1 点  
 中曾司遺跡（当市） 弥生土器 1 点  
 絵画（個人蔵） 2 点、絵画（当市） 1 点  
 新堂遺跡（当市） 土師器 5 点  
 坪井・大福遺跡（当市） 弥生土器 1 点  
 コメ 1 点、オコゲ 1 点  
 コーナー 3「これ、おもしろ。知らんけど。」の先へ」  
 ユニバーサル資料 3 点  
 行灯ケース  
 新堂遺跡（当市） 土師器 1 点
- 〔関連イベント〕  
 展覧会予告動画  
 「展覧会ができるまで」（全 2 回）の公開  
 展示解説動画「これ、おもしろ。知らんけど。」の  
 公開 ※公開は令和 5 年度 4 月



## 5. 体験講座、榎原市イベント、市外出前体験講座

### 体験講座

#### (1) 「カラー拓本にチャレンジ」

場 所 歴史に憩う榎原市博物館

開催日 2022（令和 4）年 4 月 2 日（土）～ 2023（令和 5）年 3 月 26 日（日）の毎週土・日・

祝日

参加者 108 人

#### (2) 色を育てる・染める・使う「藍の生葉染めで T シャツを彩ろう」

場 所 歴史に憩う榎原市博物館

日 時 2022（令和 4）年 8 月 27 日（土）午前 9 時 30 分～午後 0 時

参加者 16 人

#### (3) 色を育てる・染める・使う「柿渋染めで手ぬぐいを染める」

場 所 歴史に憩う榎原市博物館

日 時 2022（令和 4）年 9 月 3 日（土）

参加者 16 人

#### (4) 色を育てる・染める・使う「どんぐりで麻ふきんを染める」

場 所 歴史に憩う榎原市博物館

開催日 2022（令和 4）年 10 月 10 日（月・祝）

参加者 7人



藍の生葉染めでTシャツを彩ろう



柿渋染めで手ぬぐいを染める

### 橿原市イベント

・千塚 KoFun フェスタ 2022

場 所 新沢千塚古墳群公園、歴史に憩う橿原市博物館

開催日 2022（令和4）年11月13日（日）

〔来場者〕263人

### 市外出前体験講座等

#### (1) 春のかしはらワークショップ「手で見て、目で見て」

主催者 THE KASHIHARA

場 所 THE KASHIHARA

開催日 2022（令和4）年4月3日（日）

〔来場者〕434人

#### (2) 夏のかしはらワークショップ「豆つまみ選手権他」

主催者 THE KASHIHARA

場 所 THE KASHIHARA

開催日 2022（令和4）年7月31日（日）

〔来場者〕836人

#### (3) キッズドリームチャレンジ イオンモール橿原お仕事体験「考古学者になろう」

主催者 イオンモール橿原

場 所 イオンモール橿原

開催日 2022（令和4）年8月4日（木）～2022（令和4）年8月5日（金）

〔来場者〕545人

#### (4) 春のかしはらワークショップ「NEW 豆つまみ選手権」

主催者 THE KASHIHARA

場 所 THE KASHIHARA

開催日 2023（令和5）年3月26日（日）

〔来場者〕 1,153 人

## (5) その他

市内宿泊施設と連携し、博物館での学びを楽しむ体験型ツアーを開催している。

プレミアムツアー参加者 43 組 86 名

ナイトツアー参加者 2 組 17 名

## 6. 定期講座

文化財保存活用課職員が、現在研究しているテーマ、関心のあるテーマについて、3 回の講座を開催した。

〔場所〕シルクの杜 教室 3

〔時間〕午前 10 時 00 分～午前 11 時

〔開催日とテーマと講師〕

第 1 回 2023（令和 5）年 3 月 4 日（土）

「弥生時代の土器絵画—絵を描いた理由—」杉山真由美（文化財保存活用課 主査）

第 2 回 2023（令和 5）年 3 月 19 日（日）

「墓から見る橿原市の中世」上井佐妃（文化財保存活用課 技師）

第 3 回 2023（令和 5）年 3 月 21 日（火・祝）

「新堂遺跡の調査・研究—古墳時代の橿原最前線—」石坂泰士（文化財保存活用課 係長）

〔聴講者〕 32 人



弥生時代の土器絵画—絵を描いた理由—



墓から見る橿原市の中世



新堂遺跡の調査・研究—古墳時代の橿原最前線—

**7. 学校等校外学習、修学旅行学習、視察、博物館実習、職場体験学習、料調査、古墳石室見学、所蔵資料等の撮影の受け入れ**

学校等校外学習及び博物館実習等を受け入れた。内訳は、次の通りである。

**(1) 学校等校外学習**

2022（令和4）年	4月22日（金）	橿原市立畝傍北小学校4年生	（64人）
2022（令和4）年	5月6日（金）	橿原市立金橋小学校6年生	（68人）
2022（令和4）年	5月10日（火）	河合町立河合第二小学校3年生	（70人）
2022（令和4）年	5月11日（水）	大和高田市立菅原小学校6年生	（43人）
2022（令和4）年	5月13日（金）	橿原市立白檀北小学校6年生	（34人）
2022（令和4）年	5月18日（水）	橿原市立白檀北小学校4年生	（31人）
2022（令和4）年	5月20日（金）	大淀町立大淀希望ヶ丘小学校6年生	（44人）
2022（令和4）年	6月9日（木）	大和高田市立菅原小学校5年生	（50人）



橿原市立金橋小学校6年生



河合町立河合第二小学校3年生



大和高田市立菅原小学校6年生



橿原市立白檀北小学校6年生



橿原市立白檀北小学校4年生



大淀町立大淀希望ヶ丘小学校6年生



大和高田市立菅原小学校 5 年生

## (2) 修学旅行学習

2022（令和 4）年 11 月 9 日（水） 暁星中学校（45 人）

## (3) 視察

令和 4 年度は、視察の要請はなかった。

## (4) 博物館実習

博物館学芸員を志す者を当館に受け入れ、業務に関わる実習を通して、歴史博物館の職務（展示、調査研究、教育普及）を指導し、博物館に従事する学芸員を育成する。

〔期 間〕 2022（令和 4）年 8 月 23 日（火）～ 27 日（土）（5 日間）

〔時 間〕 午前 9 時～午後 5 時

〔実習生〕 5 名（日本大学、多摩美術大学、東京工芸大学、中央大学、奈良女子大学）

〔実習内容〕

8 月 23 日（火）1 日目（博物館概説及び展示概論）

9:00 オリエンテーション（博物館概要及び施設見学、博物館実習日程説明）

10:00 常設展示室自由見学（問題点と解決方法の具体的な提示）

13:00 午前中に引き続き、常設展示室における問題点と解決方法の提示についての発表及び討論（歴史博物館の問題点とは何か）

15:00 常設展示及び新沢千塚古墳群公園の解説（サイトミュージアムとしての博物館の役割）

8 月 24 日（水）2 日目（展示テーマとその意図の伝達・資料の取り扱い）

9:00 展示資料の解説作成（資料の魅力はどこにあるのか）（発表）

10:30 キャプションの作成（発表）

13:00 博物館資料を用いた展示シミュレーション（作業）

8 月 25 日（木）3 日目（博物館での学びとは何か、博学連携の取り組みの実践）

9:00 観察とは何か（イコハク Labo. 体験）

10:00 解説、改善案の検討（討論）

10:30 ワークショップ「陶宝見聞録」体験

13:00 博学連携とユニバーサルミュージアムへの取り組み

13:30 博学連携企画の企画立案

16:20 途中経過発表

8 月 26 日（金）4 日目（博学連携企画の企画立案） 終日



8月27日(土)5日目(ワークショップ・まとめ)

9:00 ワークショップ補助(藍染め)

13:00 昼休み

14:00 博学連携企画の企画立案

16:30 まとめ

## (5) 職場体験学習

例年、市内外中学校からの職場体験学習を受け入れているが、令和4年度は受け入れ要請がなかった。

## (6) 資料調査

- ・2022(令和4)年5月10日(火)～2023(令和5)年3月29日(水)のうち、7日間  
京都府立大学 文学部 非常勤講師 平松良雄  
調査資料: 軽寺跡出土 軒丸・主要道具瓦・伴出土器
- ・2022(令和4)年5月31日(火)  
京都府立大学 文学部 歴史学科 考古学研究室 藤川聖起  
資料調査: 小谷古墳 家形石棺 1基、菖蒲池古墳 家形石棺 2基
- ・2022(令和4)年9月12日(月)・13日(火)  
京都大学大学院 文学研究科 歴史文化学専攻 考古学専修 博士課程 繰納民之  
資料調査: 新堂遺跡出土 羽口等(橿教委2002-2・2005-3次、2016-3次 発掘調査)  
(奈良県橿原市教育委員会2015『新堂遺跡』図31、同2018『新堂遺跡Ⅱ』図47・49・55・60・74掲載遺物)  
北八木遺跡出土 羽口等(橿教委2000-3次)  
(丹羽崇史2012『東アジア金属工芸史の研究』飛鳥資料館研究図録14 p.5掲載遺物)
- ・2022(令和4)年10月27日(木)  
三好美穂  
資料調査: 藤原京右京五条六・七坊出土 唐三彩陶枕1点(橿教委2017-2次発掘調査)  
(奈良県橿原市教育委員会2018『平成29年度橿原市文化財調査年報掲載遺物』)
- ・2022(令和4)年10月31日(月)  
独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所 都城発掘調査部 飛鳥藤原地区考古第一研究室長 廣瀬覚  
京都府立大学 文学部 歴史学科 考古学研究室 藤川聖起  
調査資料: 菖蒲池古墳 家形石棺及び石室
- ・2022(令和4)年12月15日(木)  
神戸女子大学大学院 文学研究科 日本史学専攻 齋藤ゼミ 新名恵美里  
調査資料: 新堂遺跡出土 土器(橿教委2015-4次、2016-1・2次 発掘調査)  
(奈良県橿原市教育委員会2020『新堂遺跡Ⅳ』図71・77・79・123掲載遺物)

## (7) 古墳石室見学

- ・小谷古墳・沼山古墳  
2022(令和4)年5月14日(土)  
やまとびと株式会社 やまとびとツアーズ 参加者
- ・小谷古墳・沼山古墳

2022（令和4）年5月21日（土）

両槻会 参加者

- ・小谷古墳・沼山古墳

2022（令和4）年10月22日（土）

やまとびと株式会社 やまとびとツアーズ 参加者

- ・沼山古墳

2022（令和4）年11月5日（土）

特定非営利活動法人 奈良まほろばソムリエの会 秋季ウォーキングイベント 参加者

- ・小谷古墳・沼山古墳

2022（令和4）年12月11日（日）

Team 赤坂

- ・沼山古墳

2023（令和5）年1月21日（土）

橋健太郎他1名

- ・沼山古墳

2023（令和5）年3月7日（火）

特定非営利活動法人 奈良まほろばソムリエの会 「橿原・飛鳥西部の古墳巡り」 参加者

#### （9）所蔵資料等の撮影

- ・2022（令和4）年5月10日（火）

毎日新聞奈良支局

撮影資料：橿原市指定文化財 呪符木簡1・同レプリカ1

使用目的：毎日新聞報道利用

- ・2022（令和4）年8月8日（月）

（有）メディアアートのリーグ 本物の日本遺産イニシアティブ事務局

撮影資料：藤原京出土品土馬

仕様目的：飛鳥・藤原京観光プロモーション（映像詩「国のはじまりの飛鳥・藤原～天武天皇と  
持統天皇～律令国家を確立した二人の君主」）2023年1月予定

- ・2023（令和5）年3月7日（火）

武庫川女子大学 建築学部 准教授 天島秀秋

撮影資料：菖蒲池古墳 石室および石棺

使用目的：文部科学省科学研究費による古墳研究

#### 8. ボランティアガイドスタッフによる解説

ボランティアガイドスタッフを募集し32人の登録があった。ボランティアガイドスタッフは休館日を除いて、スケジュール調整を行い、各自来館可能な日に活動を行っていただいている。主に、常設展示・特別展・企画展の展示解説を行うと共に、校外学習や体験講座の支援を通して、博物館の運営支援に携わっていただいた。ボランティアガイドスタッフの活動実績は次頁一覧表の通りである。

	開館日数	ガイド人数	観覧者
4月	26	59	509
5月	26	58	821
6月	26	61	265
7月	27	55	290
8月	26	49	438
9月	26	54	340
10月	26	56	333
11月	26	50	972
12月	22	48	405
1月	23	41	353
2月	24	39	244
3月	27	52	269
	305	622	5,239

## 9. 観覧者

観覧者数（常設展示・特別展・企画展）は5,239人、内訳は以下の通りである。

	開館日数	有料観覧者			無料観覧者				合計
		大人	学生	小人	大人	学生	小人	幼児	
4月	26	175	2	12	223	0	87	10	509
5月	26	290	9	18	204	16	278	6	821
6月	26	178	1	5	27	0	50	4	265
7月	27	156	4	16	71	4	28	11	290
8月	26	216	17	53	87	2	41	22	438
9月	26	241	16	15	53	0	4	11	340
10月	26	297	5	11	8	0	3	9	333
11月	26	301	8	55	443	6	131	28	972
12月	22	144	2	4	243	6	2	4	405
1月	23	301	8	13	22	0	4	5	353
2月	24	184	0	11	44	1	0	4	244
3月	27	232	11	13	8	0	2	3	269
合計	305	2,715	83	226	1,433	35	630	117	5,239

## 10. 歴史に憩う榊原市博物館メモリアルウィーク

博物館では、本市の歴史、文化について理解を深めていただけるよう、本市の文化遺産に係る記念日を基軸としたメモリアルウィークを創設し、その期間を無料開館することとした。

### 【記念日】

- ① 2月11日 建国記念日 神武天皇即位日
- ② 3月31日 新沢千塚古墳群 国史跡指定日
- ③ 4月24日 日本遺産認定日
- ④ 8月3日 大宝律令 制定日
- ⑤ 12月6日 藤原宮 遷都日

ただし、① 2月11日 建国記念日 神武天皇即位日は当日に限る。

## 11. 所蔵資料の活用

以下の資料を下記の機関に貸し出し、公開利用に寄与した。

### (1) 資料の貸出

No.	貸出先・期間	遺跡等	資料名	点数	活用方法
1	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 〔期間〕 2022（令和4）年4月1日～ 2023（令和6）年3月31日	四条大田中遺跡  藤原京右京五条四坊	四条大田中遺跡 ファイゴ羽口3、 ファイゴ羽口片24、 鉄滓一括、 銅滓の付着した須恵器3、 ガラス滓2 藤原京右京五条四坊 土馬8、てづくね土器8	49	常設展示  〔展示期間〕 2022（令和4）年4月1日～ 2023（令和6）年3月31日
2	（医法）南風会 〔期間〕 2022（令和4）年4月1日～ 2023（令和6）年3月31日	五井遺跡	土師器（小型丸底鉢1、小型丸底土器1、坏1、高坏1、甕1、直口壺1、広口壺1） 発掘調査写真1 藤原京説明パネル2 遺跡分布図パネル1	11	万葉クリニック1階ロビーにて展示  〔展示期間〕 2022（令和4）年4月1日～ 2023（令和6）年3月31日
3	大阪府立近つ飛鳥博物館 〔期間〕 2022（令和4）年7月4日～ 2022（令和4）年10月16日	南山4号墳	陶質土器3	3	大阪府立近つ飛鳥博物館令和4年度夏季特別展「献ずる器—葬送儀礼を彩る特別な器—」 〔展示期間〕 2022（令和4）年7月30日～ 2022（令和4）年9月25日
4	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 〔期間〕 2022（令和4）年7月28日～ 2022（令和4）年9月30日	本薬師寺跡	瓦7、須恵器1	8	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館主催速報展「大和を掘る37」 〔展示期間〕 2022（令和4）年7月9日～8月7日と 2022（令和4）年8月11日～9月11日
17	橿原市観光政策課 〔期間〕 2022（令和4）年7月15日～ 2022（令和4）年7月19日	—	谷三山 掛軸「松菊猶存」	1	八木札の辻交流館開館10周年記念特別展示 〔展示期間〕 2022（令和4）年7月16日～ 2022（令和4）年7月18日
5	和歌山県立紀伊風土記の丘 〔期間〕 2022（令和4）年8月18日～ 2022（令和4）年12月下旬	東池尻・池之内遺跡出土品	須恵器（坏身5、壺1、俵瓶1、はそう1、蓋1、高坏1） 鞆羽口1 円筒埴輪1	12	令和4年度秋期特別展「紀氏大地を開く - 宮井用水と耕地開発 -」 〔展示期間〕 2022（令和4）年10月1日～ 2022（令和4）年12月4日
6	北九州市立自然史・歴史博物館 〔期間〕 2022（令和4）年9月中旬～ 2022（令和4）年12月初旬	藤原京跡	須恵器（口縁部片3、甕3、坏蓋1、壺1、瓶類2） 土師器甕1、籌木5、 木簡「急急如律令」及び「宮仕」 各レプリカ2点セット1	17	北九州市立自然史・歴史博物館特別展「トイレのうんちく展」 〔展示期間〕 2022（令和4）年10月1日～ 2022（令和4）年11月23日
7	葛城市歴史博物館 〔期間〕 2022（令和4）年10月3日～ 2022（令和4）年12月9日	新堂遺跡	ウマの歯5、 須恵器（把手付椀1、壺1、はそう1、高坏1、有蓋高坏2、蓋2） 韓式系土器（把手付鍋2） 陶質紡錘車3 製塩土器1	19	第23回特別展「古墳時代の葛城に馬がいた—葛城と大和・河内の馬と牧—」  〔展示期間〕 2022（令和4）年10月15日～ 2022（令和4）年11月27日

## (2) 資料の掲載

No.	貸出先	資料名(写真デジタルデータ等)	点数	掲載書籍等
1	(株)ゴッズ・ダイナミック・ワールド	藤原京復元模型	1	『関口宏の一番新しい古代史』にて放映
2	大阪府立近つ飛鳥博物館	南山古墳群 4号墳主体部1、古墳群全景1、 陶質土器1、動物形異形高環1	4	大阪府立近つ飛鳥博物館令和4年度夏季特別展「献ずる器—葬送儀礼を彩る特別な器—」広報資料・動画
3	(株)ベネッセコーポレーション	藤原京復元模型	1	2022年度進研ゼミ小学講座「チャレンジ6年生」8月号 令和4年8月1日発行
4	(株)ゴッズ・ダイナミック・ワールド	藤原京跡 下水道遺構1、籌木1 水洗トイレ(イメージ)イラスト1	3	『関口宏の一番新しい古代史』にて放映
5	(株)ゴッズ・ダイナミック・ワールド	藤原京復元模型	1	『関口宏の一番新しい古代史』にて放映
6	(株)八木書店出版部	観音寺本馬遺跡 IV区南西部埋没林出土状況	1	『葛城の考古学—先史・古代研究の最前線—』 令和4年6月25日発行
7	(株)ユニフォンプレスインターナショナル	藤原京復元模型(全体南から)	1	2022年度中学受験新演習社会小5下 令和4年6月25日発行
8	(株)山川出版社	藤原京復元模型	1	『もういちど読みとおす 山川新しい日本史1』 令和4年7月発行のち電子書籍化
9	(株)TBSスパークル	藤原京復元模型	1	『関口宏の一番新しい古代史』にて放映
10	斑鳩町教育委員会	東池尻・池之内遺跡 全景1、 IV区流路NP120完堀状況1、 IV区南西部埋没樹出土状況1、 IV区木51クリ出土状況1	4	『新修 斑鳩町史 上巻』
11	(株)吉川弘文館	上空から見た植山古墳写真	1	新古代史の会編『人物で学ぶ日本古代史古墳・飛鳥時代編』 令和4年7月発行
12	NHK大阪放送局コンテンツセンター第3部	菖蒲池古墳 5区墳丘南西隅完堀状況1、 6区上段墳丘検出状況1、 10区墳丘北東隅完堀状況1、 10区基底石掘方と基底石の据え付1、 須恵器1、杯蓋1、杯身1、磚1	8	NHK番組 歴史探偵「飛鳥の古墳めぐり」
13	(株)ユニフォンプレスインターナショナル	藤原京復元模型(全体南から)	1	『2022年度中学受験新演習社会小5下実力アップ問題集』 令和4年6月25日発行
14	合同会社 浩然社	藤原京復元模型	1	『小学生おもしろ学習シリーズ まんが日本の歴史大事典』 令和5年2月10日発行
15	和歌山県立紀伊風土記の丘	東池尻・池之内遺跡 1区下層遺構完掘状況1、 調査区全景 遺構完掘状況1、 調査区北東部 石敷出土状況1、 池・堤想定復元図1、 周辺調査遺構平面図1	5	和歌山県立紀伊風土記の丘 令和4年度秋期特別展「紀氏、大地を開く—宮井用水と耕地開発—」 令和4年9月28日発行
16	早稲田大学會津八一記念博物館	植山古墳 航空写真近景1、 東石室全景1、 東石室全景1、 東石室 家形石棺出土状況1 西石室 正面観(南東から)1	5	早稲田大学會津八一記念博物館2022年度企画展示「下総龍角寺」図録 令和4年9月20日発行

No.	貸出先	資料名(写真デジタルデータ等)	点数	掲載書籍等
18	橿原市議事課	藤原京復元模型	1	「かしはら市議会のいま 第222号」
19	北九州市立自然史・歴史博物館	藤原京跡 弧状トイレ1、埋め込みトイレ1	2	北九州市立自然史・歴史博物館特別展「トイレのうんちく展」展示及び広報等
20	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	本薬師寺跡 2018年発掘調査写真1、調査図面1	2	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館速報展「大和を掘る37」展示パネル
21	(有)メディアアートルীগ 本物の日本遺産イニシアティブ事務局	藤原京跡 土馬、模型、航空写真等の画像、地図、図版等	一式	飛鳥・藤原京観光プロモーション(映像詩「国のはじまりの飛鳥・藤原～天武天皇と持統天皇～律令国家を確立した二人の君主」(約12分) 令和5年1月予定
22	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	東池尻・池之内遺跡写真	2	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館秋期特別展「宮廷苑池の誕生」展示及び広報等
23	(株)やまとびと やまとびとツアーズ	小谷古墳、沼山古墳写真	2	自社主催ツアー告知用パンフレット、チラシ、HP・SNS等
24	葛城市歴史博物館	新堂遺跡 (報告Ⅳ)2区河道1、河道Ⅴ層出土 土器1、河道出土 動物依存体1、(報告Ⅱ)SX524出土 製塩土器1	5	第23回特別展「古墳時代の葛城に馬がいた―葛城と大和・河内の馬と牧―」展示及び広報等
	福岡市埋蔵文化センター 久住猛雄	新堂遺跡 石製品及び実測図	一式	鳥根県立八雲立つ風土記の丘資料館における講演会の発表スライド
25	奈良県文化・教育・くらし創造部文化財資源活用課	菖蒲池古墳発掘調査写真	1	奈良県発行『世界遺産ジャーナル』第5号(日本語版・英語版)
26	朝日新聞出版書籍編集部	南山古墳 馬具	1	東潮『倭と伽耶』 令和4年10月発行
27	(株)ベネッセコーポレーション	藤原京復元模型	1	2022年度 高2生対象プロシードテスト(日本史) 令和5年2月1日発行
28	(株)小学館 学習まんが・百科編集室	藤原京復元模型	1	『小学館版学習まんが日本の歴史』第2巻(飛鳥時代)「この巻の史跡 博物館 資料館」 令和5年12月1日発行
29	(株)浜島書店	坪井遺跡 人物線刻画土器写真	1	詳細日本史(2023年度版) 令和5年2月1日発行(紙媒体・デジタル版)
30	(株)山川出版社	藤原京復元模型	1	『日本の歴史』 令和5年3月発行(のち電子書籍販売)
31	(株)大和リゾート THE KASHIHARA	博物館外観写真、イベントイメージ写真	3	団体・個別ツアーの募集チラシ
32	大野城心のふるさと館	丸山古墳(畝傍陵墓参考地) 航空写真	1	特別展「よみがえる黄金の宝 国宝 宮地嶽古墳出土宝物の世界」展示図録 令和4年10月22日発行
	京都大学大学院文学研究科 歴史文化専攻考古学専修 博士課程1年 纒納民之	新堂遺跡 榑教委2002-2次・2005-3次・2016-3次調査出土資料 内膳北八木遺跡 榑教委2000-3次調査出土資料	一式	シンポジウム『ここまで判った布留遺跡―物部氏以前とその後―』の講演会の発表スライド
33	(株)講談社	藤原京復元模型	1	『講談社の動く図鑑 MOVE 日本の歴史』 令和4年11月29日発行
34	九州国立博物館	新沢千塚126号埴埴埋葬施設復元イメージ	1	九州国立博物館特別展「伽耶」展示及び広報等
35	朝日学生新聞社	藤原京跡 基石写真	1	『朝日小学生新聞「社会なんで?か知ってるよ」令和4年10月2日及び『朝日子ども新聞』』
36	桜井市教育委員会	藤原京復元模型	1	特別史跡山田寺跡魅力発信事業コンテンツ制作 令和5年1月20日公開
37	(株)アフロ	藤原京復元模型	1	『トクがトクイになる!ハイレベルワーク6年社会』 令和5年2月1日発行

No	貸出先	資料名(写真デジタルデータ等)	点数	掲載書籍等
38	奈良大学総合研究所	藤原京復元模型	1	奈良大学公開講座「奈良大学令和館講座 壬申の乱 1350年」配信動画
39	(株)ゆまに書房	奈良県四条大田中遺跡 槽作りのこと(築状弦楽器)	1	『ビジュアル日本の音楽の歴史①古代～中世』の「I 古代の音楽 ②弥生時代の音楽」 令和5年12月27日発行
40	(有)地人館	藤原京復元模型	1	『日本史年表(朝日新聞出版)』 令和4年12月発行
41	ハーバード大学 東アジア言語文化 学部 教授 阿部龍一	益田池跡 池の復元範囲地図	1	ハワイ大学出版部『中世仏教とその環境』「山水と法身—空海の灌漑プロジェクト」 令和5年発行
42	(株)浜島書店	藤原京復元模型	1	歴史デジタルミュージアム(媒体 ユーザー 限定のオンラインサービス・教師用DVD- ROM) 令和5年4月1日提供 新詳日本史(2023年2月1日発行予定)
43	(株)サイバー・ネット・コミュニケー ションズ	藤原京復元模型	1	(株)教育出版発行「令和7年度版中学校社 会科用教科書『中学社会 歴史 未来をひ らく』」 令和7年4月掲載予定
44	奈良県総務部知事公室広報広聴課	新沢千塚古墳群	1	県民だより奈良(2023年2月号)の県HP および電子書籍
45	(株)日本文教出版	藤原京復元模型	1	『中学社会 歴史的分野』 令和5年4月発行
46	(株)サイバー・ネット・コミュニケー ションズ	藤原京復元模型	1	(株)帝国書院発行『社会科 中学生の歴史』 令和7年4月発行予定
47	一般財団法人懐徳堂記念会	丸山古墳 写真	1	令和5年度古典講座(懐徳堂記念会主催) 広報
48	世界遺産登録推進課	菖蒲池古墳 石室内の家形石棺1、 1区上段墳丘裾基底石検出状況1、 2区上段墳丘裾平坦面及び基底石検出 状況1、 5区墳丘西南隅完掘状況1、 7区墳丘東辺の掘削1、 10区墳丘北東隅完掘状況1	6	令和4年度図書館展示「「飛鳥・藤原の宮都 と関連資産群」を世界遺産へ」展示パネル
49	(株)吉川弘文館	植山古墳 航空写真	1	重見泰著『大極殿の誕生(仮題)』 令和5年4月発行(後に電子版刊行)
50	(株)ベネッセコーポレーション	藤原京復元模型	1	2023年度進研ゼミ小学講座「チャレンジ6 年生」8月号 令和5年8月1日発行
51	(株)東京書籍	藤原京復元模型	1	令和7年度中学校用教科書「新編 新しい 社会 歴史」 令和7年発行予定
52	(株)ディラナダチ	藤原京復元模型	1	歴史人((株)アーク発行)2023.5月号 特集「古代の都と遷都の謎」
53	橿原市観光ボランティアガイドの会	植山古墳 石棺写真	2	令和5年3月25日予定 桜ウオーク広報
54	(株)グレイル	植山古墳 空撮写真	1	中公ムック 歴史と人物14『目からウロコ 日本古代の新常識!』 令和5年3月10日発行
55	(株)悠工房	藤原京復元模型	1	『社会の学習(公益財団法人愛知教育文化振 興会)』 令和5年4月1日発行
56	公益財団法人 古都飛鳥保存財団	「歴史に憩う橿原市博物館」外観写真	1	HP施設紹介「歴史に憩う橿原市博物館」

## 12. 刊行物一覧

- ・パンフレット 令和4年度夏季企画展  
『「怖い」に立ち向かえ』  
(2022(令和4)年7月16日 1,200部)
- ・パンフレット 令和4年度秋季企画展  
『日本爆誕! 壬申の役(えき)』  
(2022(令和4)年11月19日 200部)
- ・パンフレット 令和4年度博学連携企画展『これ、おもしろ。知らんけど。』  
(2023(令和5)年3月25日 1,200部)

## 13. 講師派遣

- ・「博物館の展示解説、新沢千塚古墳群現地解説」  
場 所 歴史に憩う榎原市博物館・新沢千塚古墳群  
開催日 2022(令和4)年4月9日(土)  
講 師 課長補佐兼学芸係長 松井 一晃  
対 象 大和リゾート株式会社 THE KASHIHARA イベント参加者
- ・「博物館の展示解説、新沢千塚古墳群解説」  
場 所 歴史に憩う榎原市歴史博物館  
開催日 2022(令和4)年5月21日(土)  
講 師 課長補佐 松井 一晃  
対 象 両機会 企画イベント参加者
- ・「学びを生み出す～歴史に憩う榎原市博物館における学習プログラムの実践」  
場 所 南山大学  
開催日 2022(令和4)年5月25日(水)  
講 師 松井一晃  
対 象 南山大学人文学部 学生
- ・「榎原市の歴史や文化について(出土資料のハンズオン体験を含む)」  
場 所 榎原市立畝傍東小学校  
開催日 2022(令和4)年6月15日(水)  
講 師 課長補佐 松井 一晃  
対 象 榎原市立畝傍東小学校 6年児童
- ・「ウェブによる市内の埋蔵文化財の保存と活用に関する解説 文化庁動画「遺跡へいこう」vol.23」  
場 所 歴史に憩う榎原市歴史博物館、史跡新沢千塚古墳群  
開催日 2022(令和4)年7月8日(金)  
講 師 課長補佐 松井 一晃  
対 象 動画視聴者
- ・「博物館の展示解説、新沢千塚古墳群解説」  
場 所 歴史に憩う榎原市博物館・新沢千塚古墳群  
開催日 2022(令和4)年9月3日(土)  
講 師 課長 露口 真広  
対 象 川村学園女子大学 文学部史学科 4年次学生



- ・「橿原市・新沢千塚と博物館を歩く」

場 所 ①歴史に憩う橿原市博物館・遺跡等の現地取材・映像撮影  
②オンライン会場（八尾市しおんじやま古墳学習館）

開催日 ①2022（令和4）年9月17日（土）  
②2022（令和4）年10月2日（日）

講 師 課長補佐 松井 一晃

対 象 八尾市しおんじやま古墳学習館 イベント参加者
- ・「博物館の展示解説、新沢千塚古墳群解説」

場 所 守山市立埋蔵文化財センター

開催日 2022（令和4）年10月22日（土）

講 師 課長補佐 松井 一晃

対 象 守山市立埋蔵文化財センター 友の会
- ・「千塚 KoFun フェスタ 2022 の紹介」

場 所 FM ヤマト 本社スタジオ

開催日 2022（令和4）年11月9日（水）

講 師 課長 露口 真広

対 象 FM ヤマト 傾聴者
- ・「橿原市歴史に憩う博物館ならびに新沢千塚古墳群の解説」

場 所 歴史に憩う橿原市博物館・新沢千塚古墳群

開催日 2022（令和4）年11月10日（木）

講 師 技師 上井 佐妃

対 象 株式会社オーガトラベル イベント参加者
- ・「新沢千塚古墳群散策と歴史に憩う橿原市博物館見学」

場 所 歴史に憩う橿原市博物館・新沢千塚古墳群

開催日 2022（令和4）年11月26日（土）

講 師 課長補佐 松井 一晃

対 象 西池尻町つながり事業実行委員会 イベント参加者
- ・「飛鳥・藤原地域の歴史に関する及び、  
歴史に憩う橿原市博物館における出土遺物接合体験、考古学の魅力と学問的方法論を学ぶ」

場 所 歴史に憩う橿原市博物館

開催日 2022（令和4）年12月13日（火）

講 師 課長補佐 松井 一晃

対 象 飛鳥歴史公園・飛鳥里山クラブ 文化サークル イベント参加者
- ・「橿原市・新沢千塚と博物館を歩く～学校教育での活用～」

講 師 課長補佐 松井 一晃

対 象 大和高田市教頭会
- ・「歴史講座・古墳見学」

場 所 沼山古墳、小谷古墳

開催日 2023（令和5）年2月18日（土）

講 師 課長補佐 平岩 欣太

対 象 N P O 法人奈良まほろばソムリエの会 イベント参加者
- ・「橿原市移住体験ツアー（子育て世帯向けコース）」

場 所 歴史に憩う橿原市博物館  
開催日 2023（令和5）年2月18日（土）  
講 師 課長補佐 松井 一晃  
対 象 近畿日本ツーリスト株式会社 奈良支店 ツアー参加者

・「春のかしはらワークショップ（体験コーナー）」

場 所 THE KASHIHARA 瑞穂の間  
開催日 2023（令和5）年3月26日（日）  
講 師 今井町並保存整備事務所職員、文化財保存活用課職員、観光政策課職員、  
昆虫館職員、世界遺産登録推進課職員  
対 象 大和リゾート株式会社 THE KASHIHARA イベント参加者

#### 14. 利用案内

所在地：〒634-0826 奈良県橿原市川西町 858 番地の1

TEL：0744-27-9681 FAX：0744-26-1114

開館時間：午前9時00分～午後5時00分（入館受付は午後4時30分まで）

休館日：月曜日（祝祭日の場合は翌平日。）及び12月27日～1月4日

観覧料：

	大人	学生 (高校・大学生)	小人 (小・中学生)
個人	300	200	100
団体(30人以上)	270	180	90
団体(100人以上)	210	140	70

交通：公共交通機関

近鉄：橿原神宮前駅下車（西出口）徒歩30分

奈良交通バス：橿原神宮前駅西口のりば

「近鉄御所行駅」行「川西」下車 徒歩2分

車利用の場合

京奈和自動車道「橿原北IC」から7.2km・「御所IC」から2.3km

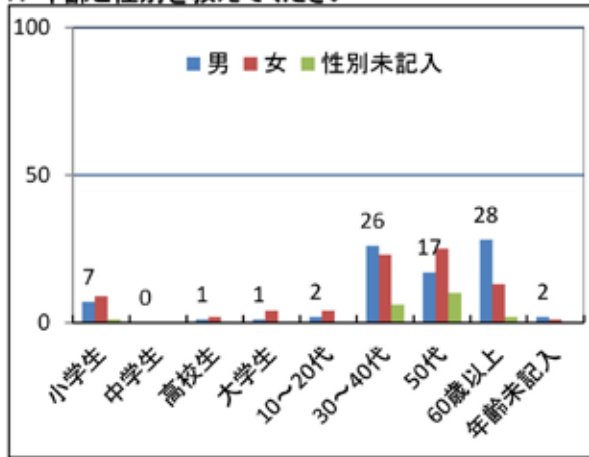
大和高田バイパス「新堂ランプ」から2.8km

15. 展覧会来館者アンケート

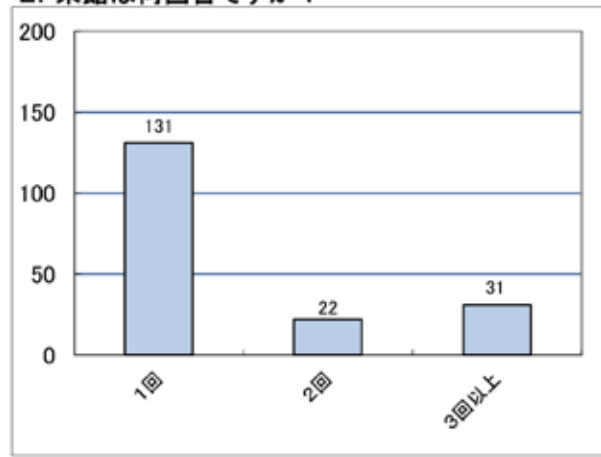
## 令和4年度 夏季企画展 入館者アンケート集計結果

開催期間：7月 16日(土)～9月 19日(月)  
 来館者数：932人 (うちアンケート対象人数851人)  
 回答者数：184人 (回答率 22%) ※開館日数57日間

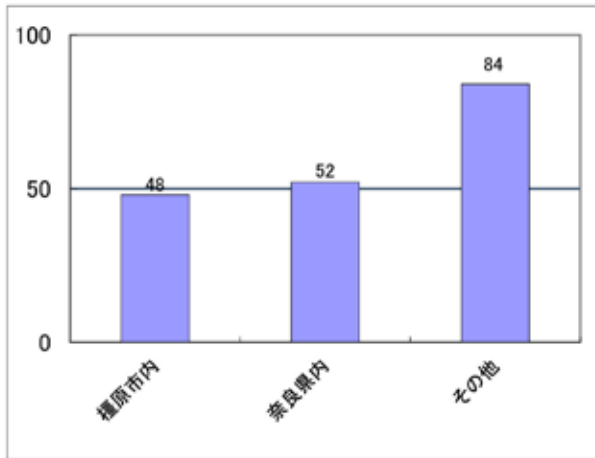
### 1. 年齢と性別を教えてください



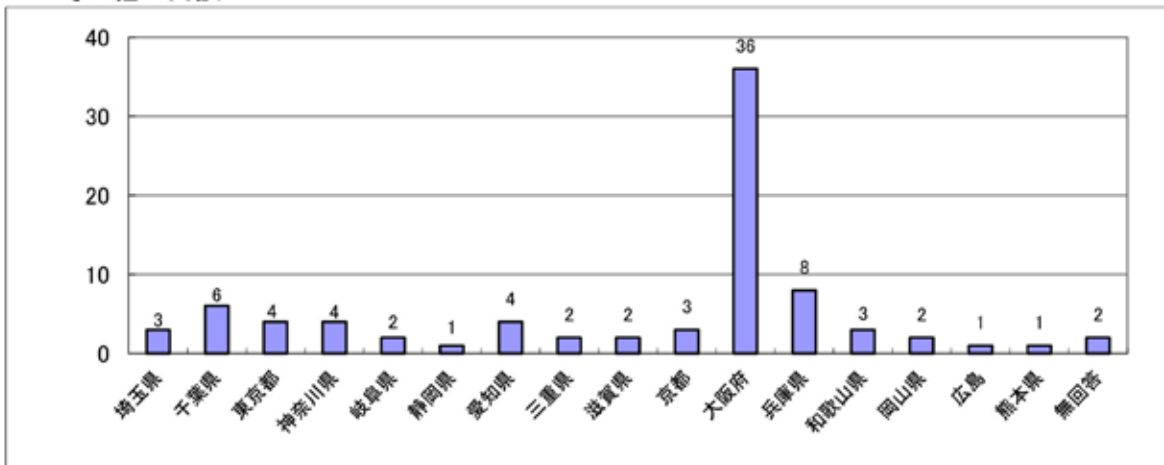
### 2. 来館は何回目ですか？



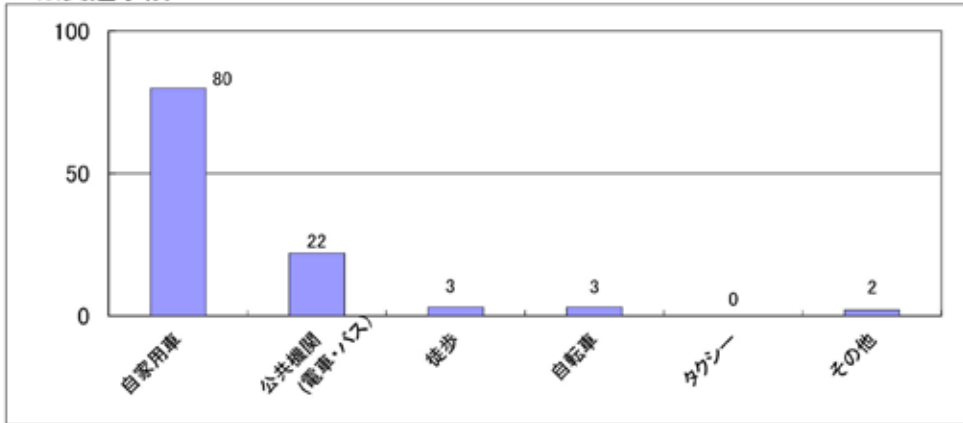
### 3. どちらから来られましたか？



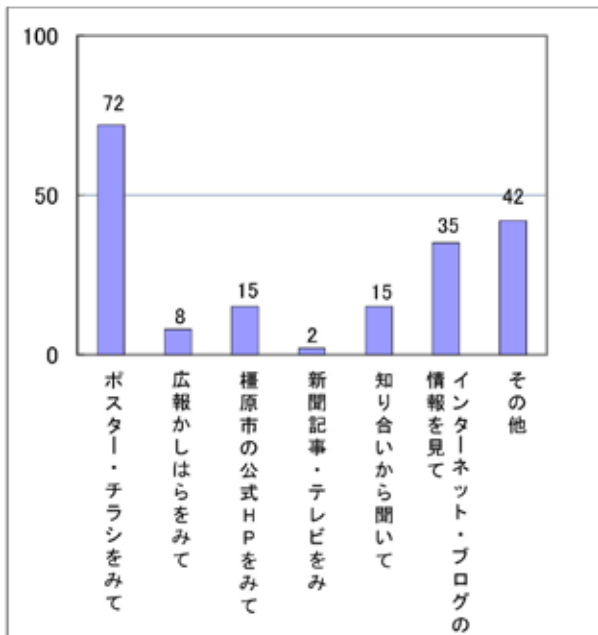
### 3.C. その他の内訳



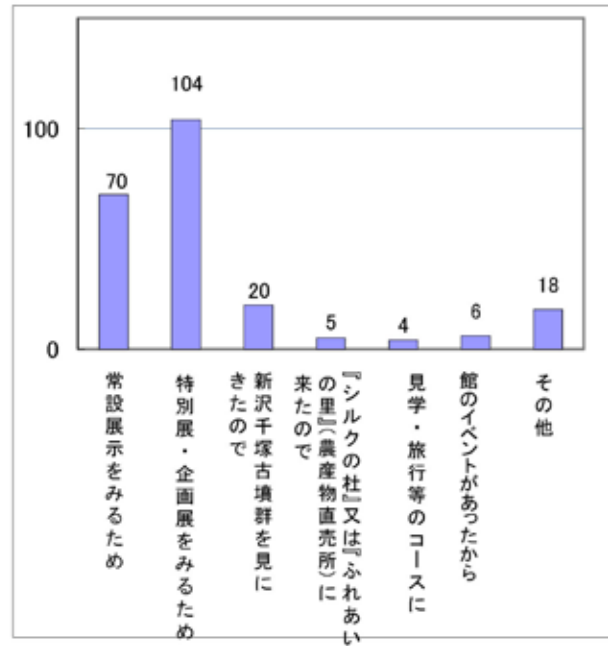
### 3. ※交通手段



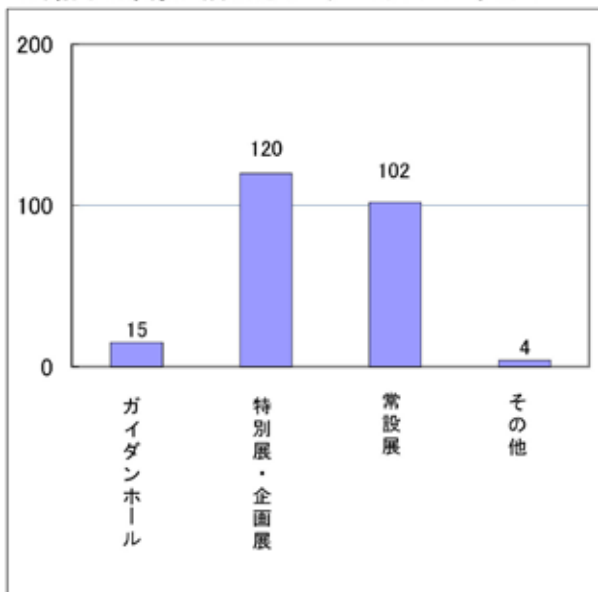
### 4. 当館についてどこで知りましたか？



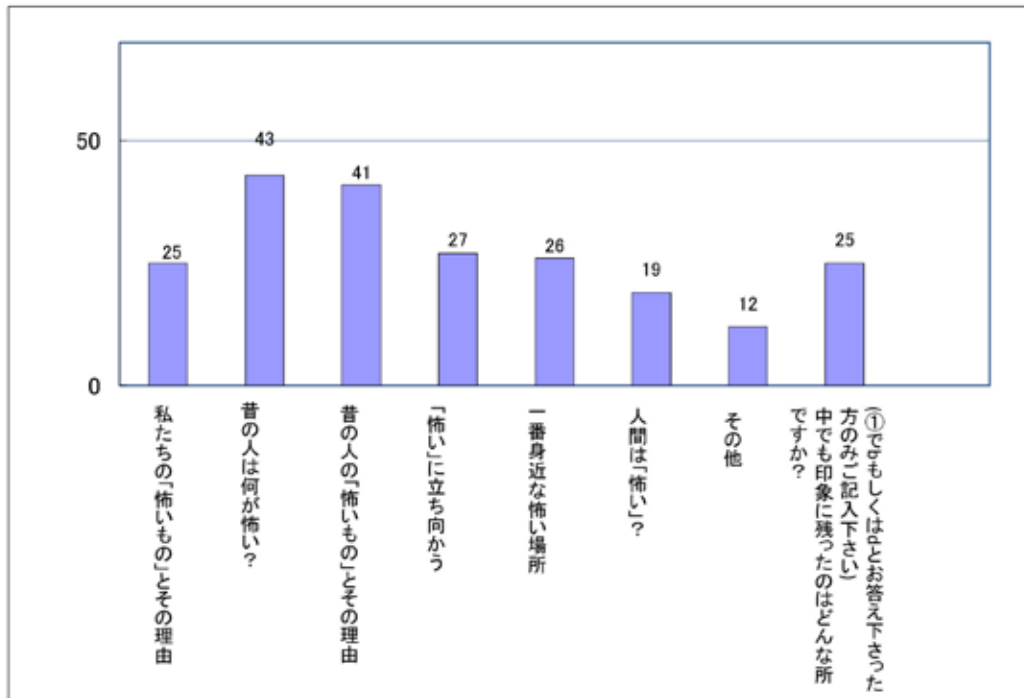
### 5. どのような目的で来館されましたか？



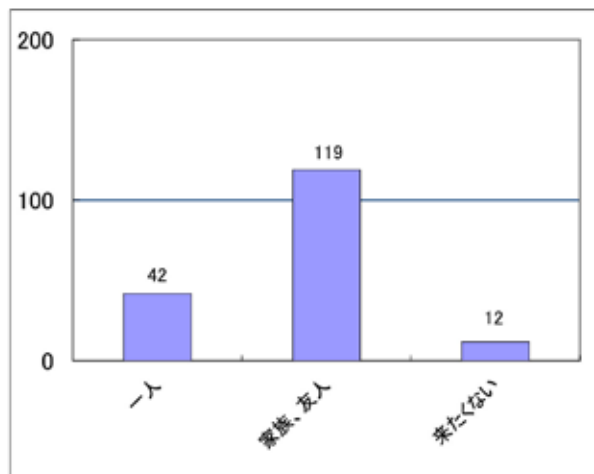
### 6. 館内で印象に残ったコーナーはどこですか？



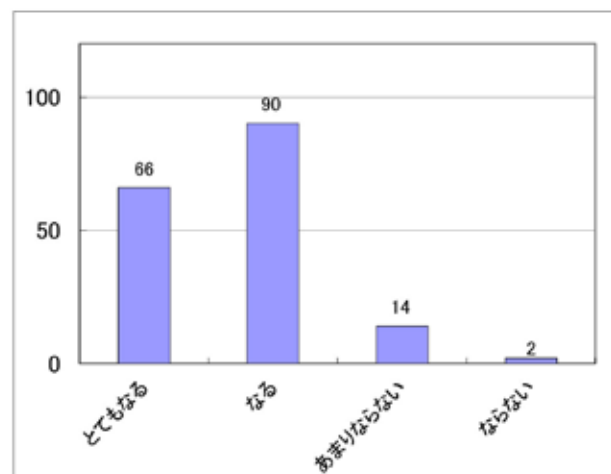
7. 特別展・企画展で一番印象に残った展示は何ですか？



8. もう一度今回の特別展・企画展を見るなら誰と来たいですか？



9. 今回の特別展・企画展は歴史に興味を持つ機会になるとおもいますか？



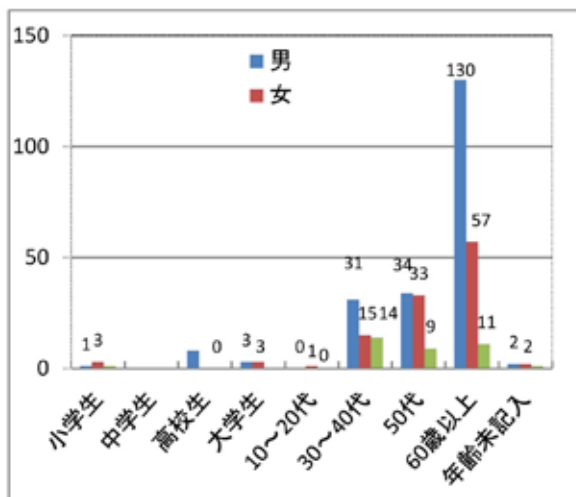
# 令和4年度 秋季特別展 入館者アンケート集計結果

開催期間：令和4年11月19日(土)～令和5年1月29日(日)

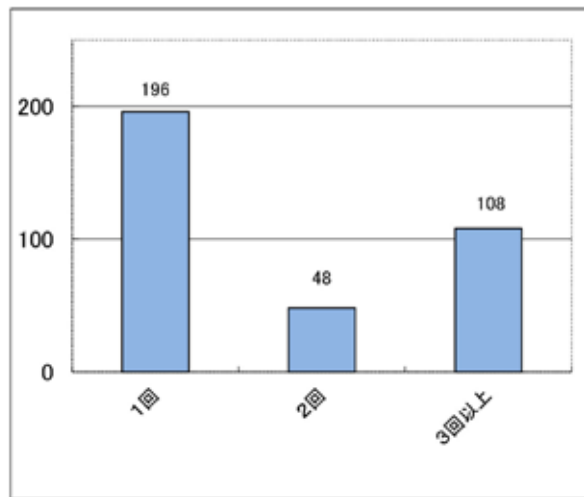
来館者数：1174人 (うちアンケート対象者 1079人) ※開館日数 54日間

回答者数：359人 (回答率 33%)

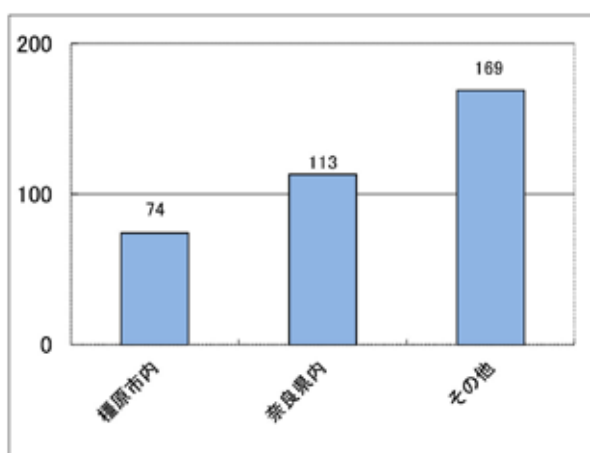
## 1. 年齢と性別を教えてください



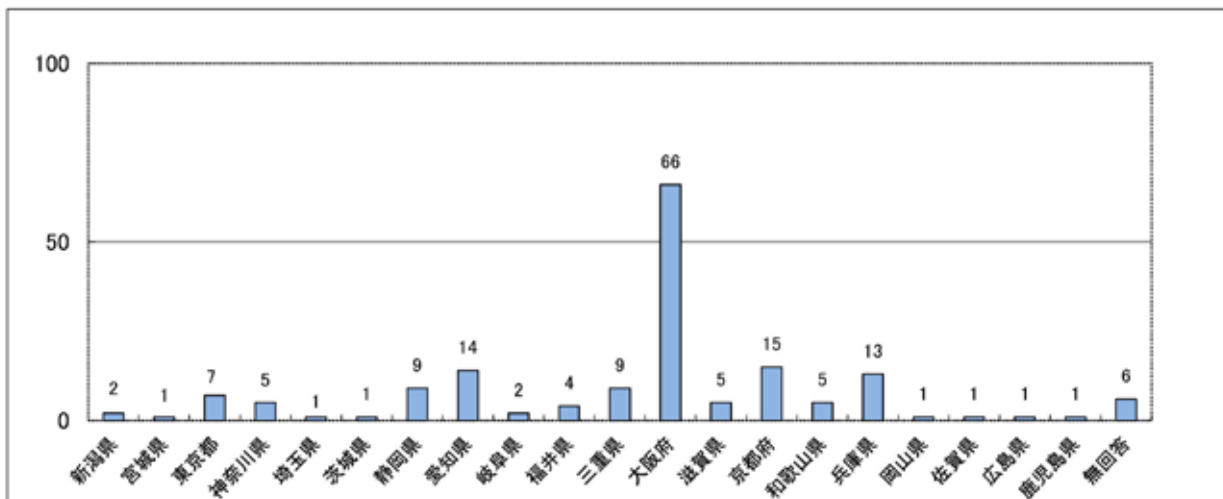
## 2. 来館は何回目ですか？



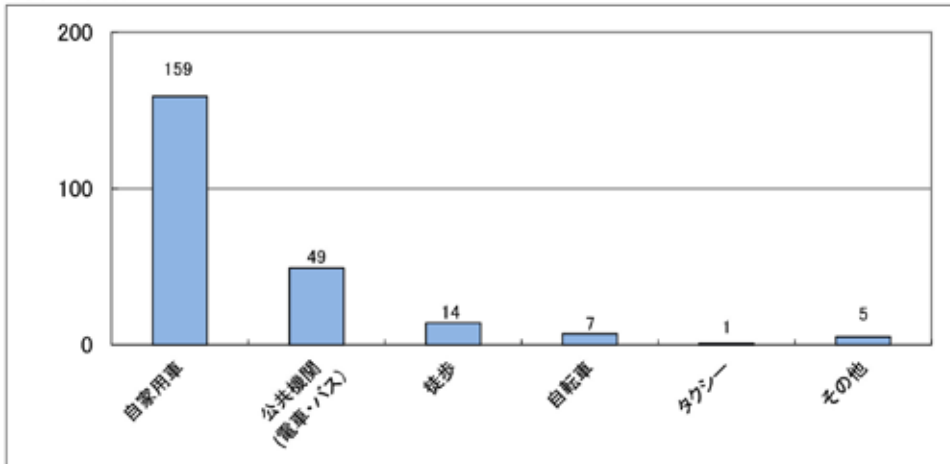
## 3. どちらから来られましたか？



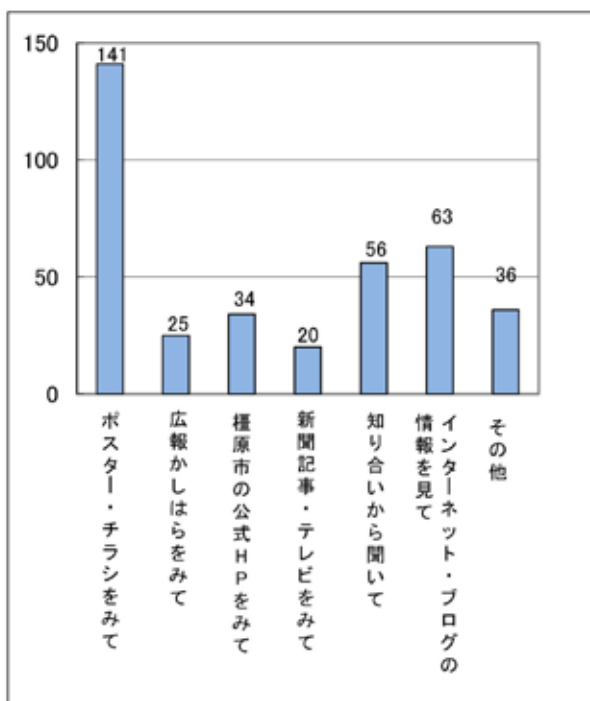
## 3. その他の内訳



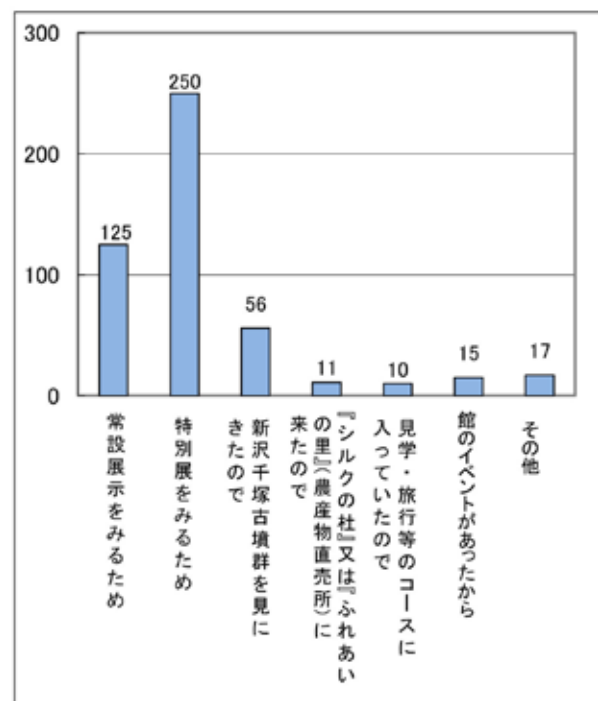
### 3. 交通手段



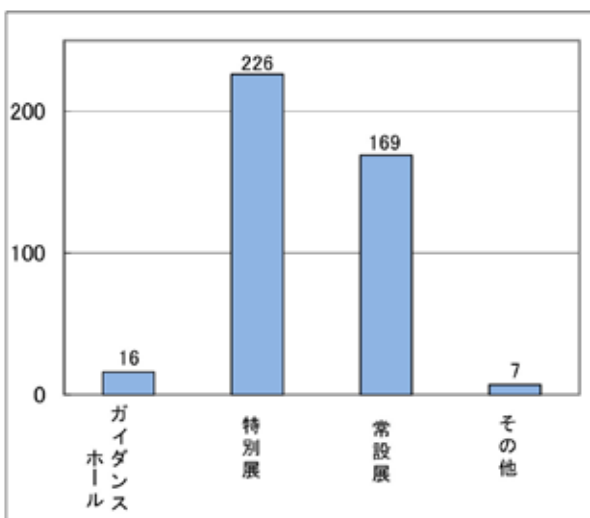
### 4. 当館についてどこで知りましたか？



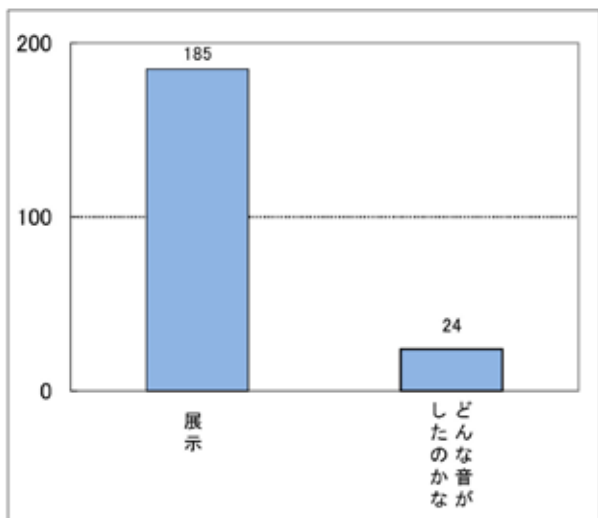
### 5. どのような目的で来館されましたか？



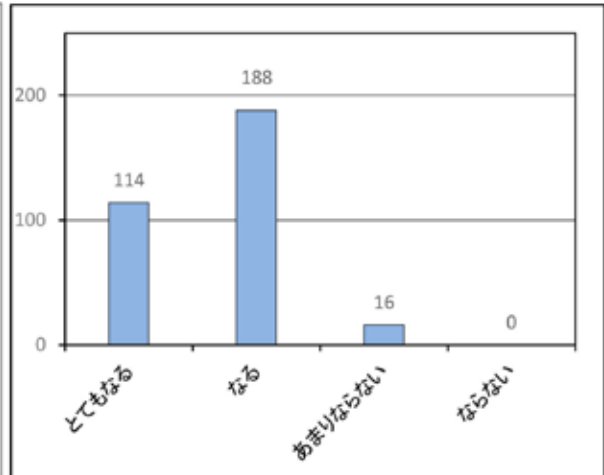
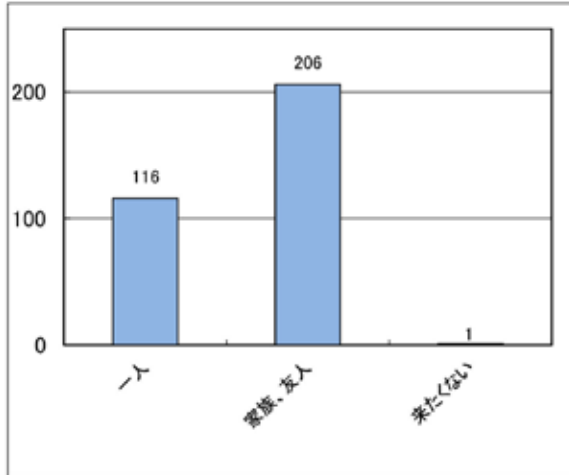
### 6. 館内で印象に残ったコーナーはどこですか？



### 7. 特別展で一番印象に残った展示は何ですか？



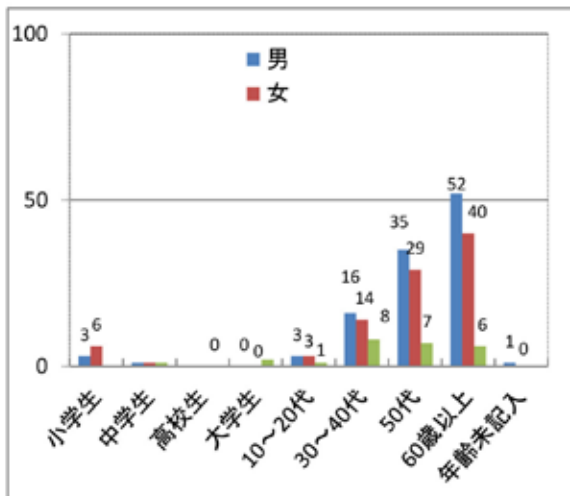
8.もう一度今回の特別展を見るなら誰と来たいですか？ 9. 今回の展示は歴史に興味を持つ機会になると  
 思いますか？



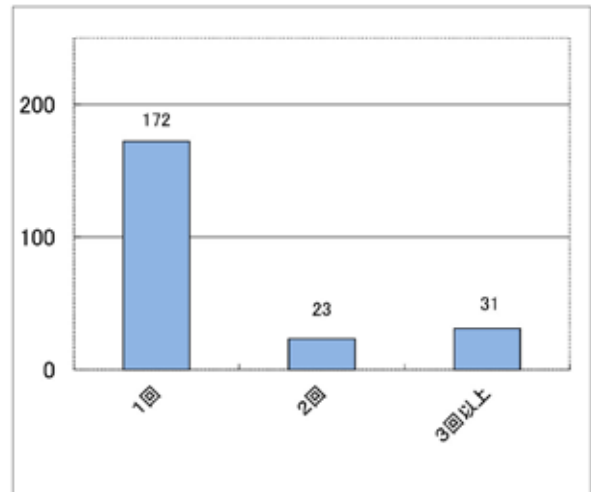
## 令和4年度 博学連携企画展 博物館実習生×歴史に憩う榎原市博物館 入館者アンケート集計結果

開催期間：令和5年3月25日(土)～令和5年6月18日(日)  
 来館者数：1435人(うちアンケート対象者 941人) ※開館日数 74日間  
 回答者数：229人(回答率 24%)

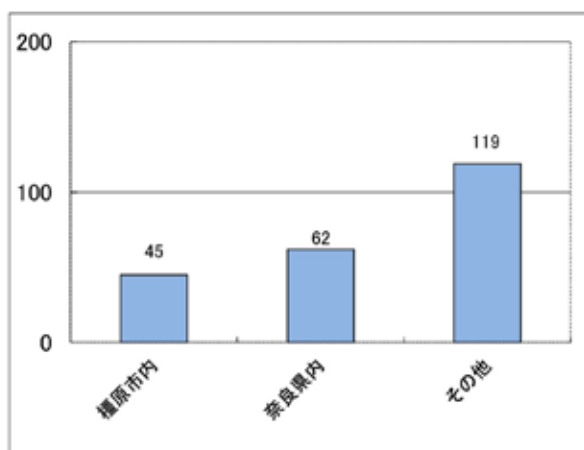
### 1. 年齢と性別を教えてください



### 2. 来館は何回目ですか？

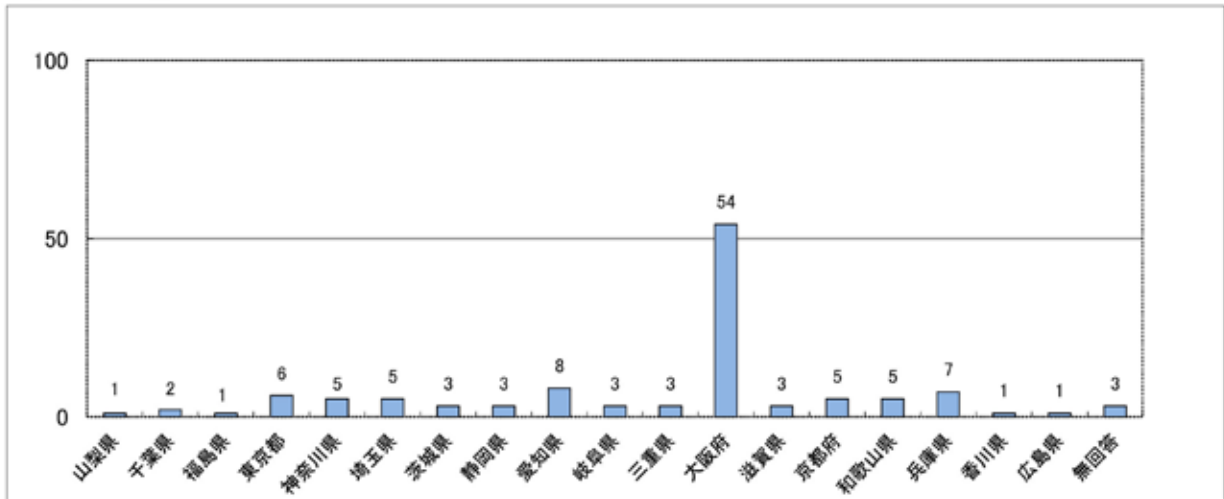


### 3. どちらから来られましたか？

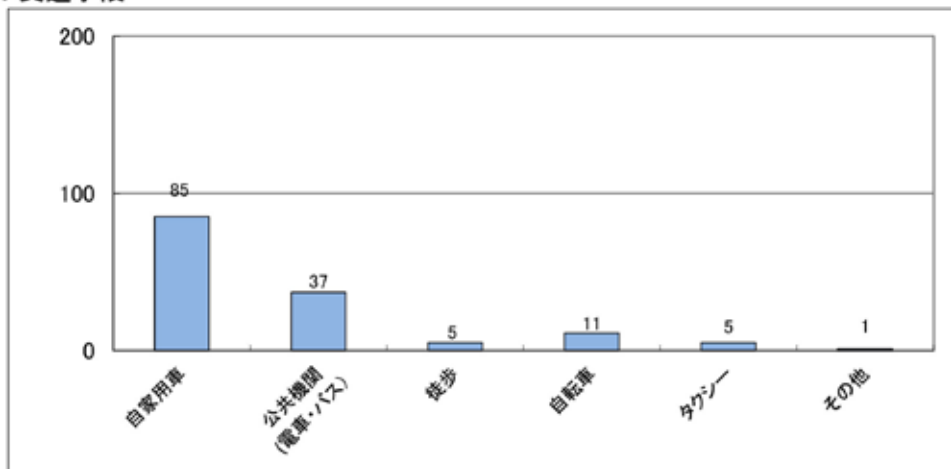




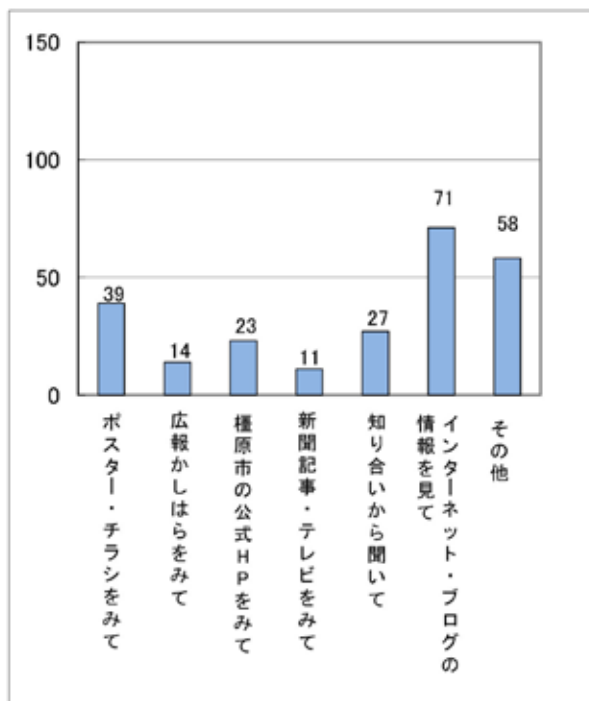
### 3. その他の内訳



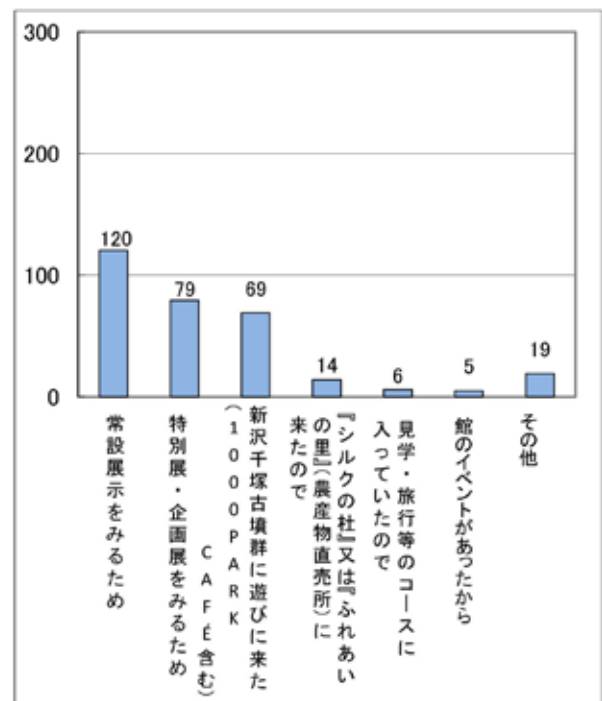
### 3. 交通手段



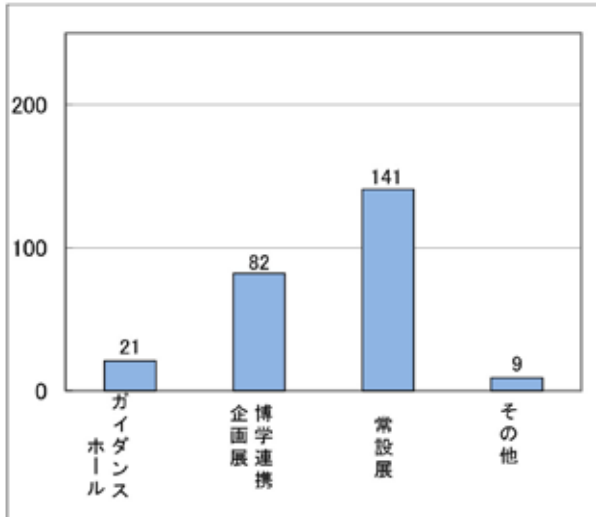
### 4. 当館についてどこで知りましたか？



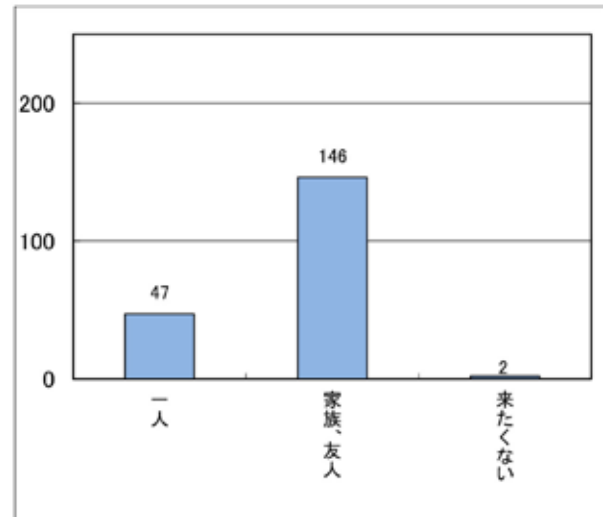
### 5. どのような目的で来館されましたか？



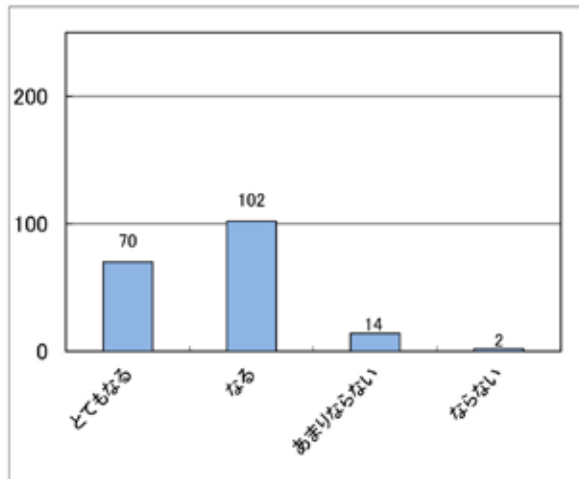
6. 館内で印象に残ったコーナーはどこですか？



8. もう一度今回の博学連携企画展を見るなら誰と来たいですか？



9. 今回の博学連携企画展は博物館に興味を持つ機会になるとおもいますか？



16. 条例、規則

歴史に憩う 橿原市博物館条例

平成 25 年 12 月 26 日

条例第 30 号

(設置)

第 1 条 橿原市は、郷土の歴史資料(以下「資料」という。)の保存と活用を図ることにより、市民の郷土に対する理解と知識を深め、もって広く教育、学術及び文化の発展に資するため、歴史に憩う 橿原市博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第 2 条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
歴史に憩う 橿原市博物館	橿原市川西町 858 番地の 1

(管理)

第 3 条 博物館は、市長がこれを管理する。

(事業)

第4条 博物館は、その目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 資料の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 資料に関する調査研究に関すること。
- (3) 資料に関する解説書、目録、調査研究の報告書等の作成及び頒布に関すること。
- (4) 資料に関する講演会、研究会、講習会等の開催に関すること。
- (5) 他の博物館等との刊行物及び情報の交換、資料の相互貸借等に関すること。
- (6) 他の博物館、学校、学会その他の関係機関との連絡及び協力に関すること。
- (7) その他教育委員会が必要と認める事業

(入館の制限)

第5条 市長は、博物館に入館しようとする者又は入館した者が次の各号のいずれかに該当するときは、入館を拒否し、又は退館させることができる。

- (1) 他人に危害を及ぼし、若しくは他人の迷惑となるおそれがある者又はこれらのおそれがある物品を携帯する者
- (2) 動物類(身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)に規定する身体障害者補助犬及び市長が必要と認める動物類を除く。)を携帯する者
- (3) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認める者
- (4) 博物館の施設又はその附属設備、備品、資料等を滅失し、又は毀損するおそれがあると認められる者
- (5) 博物館の管理の業務に従事する者の指示に従わない者
- (6) 前各号に掲げるもののほか、管理上支障があると認める者

(撮影等の許可)

第6条 博物館において資料の撮影、模写、模造等(以下「撮影等」という。)の行為をしようとする者(以下「申請者」という。)は、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、資料の管理上支障があると認めるときは、前項の許可に条件を付することができる。

3 申請者は、撮影等の許可を受けた目的以外に資料を使用し、又はその使用の権利を他人に譲渡し、若しくは転貸してはならない。

(観覧料)

第7条 博物館に展示している資料を観覧しようとする者(以下「観覧者」という。)は、別表に定める観覧料を納付しなければならない。

2 市長は、観覧者が次の各号のいずれかに該当するときは、前項の観覧料の全部又は一部を免除することができる。

- (1) 身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者及びその介護を行う者
- (2) その他市長が特別の理由があると認める者

3 既納の観覧料は、還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(協議会)

第8条 博物館に歴史に憩う榎原市博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員(以下「委員」という。)の定数は、10人以内とする。

3 委員は、学識経験者、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、関係行政機関の職員並びに地域の代表者の中から市長がこれを任命する。

4 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 第1項から前項までに定めるもののほか、協議会に関し必要な事項は、市長が別に定める。

(委任)

第9条 この条例の施行について必要な事項は、市長が別に定める。附 則 抄

(施行期日)

第1条 この条例は、平成26年4月1日から施行する。ただし、第8条及び附則第3条の規定は、規則で定める日から施行する。

(準備行為)

第2条 この条例の施行に際し必要な手続その他の準備行為については、この条例の施行前においても、行うことができる。

附 則(平成27年条例第5号)抄

(施行期日)

第1条 この条例は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成27年条例第23号)抄

(施行期日)

第1条 この条例は、公布の日から施行する。

別表(第7条関係)

区分	観覧料(1人1回につき)	
	個人	団体
大人	300円	左欄に掲げる額の10パーセントを減じた額とする。ただし、100人以上の団体の場合は、左欄に掲げる額の30パーセントを減じた額とし、これらの額に10円未満の端数がある場合については、その端数金額を切り捨てた額とする。
学生	200円	
小人	100円	

備考

- (1) 学生とは、高等学校、大学及びこれらに準ずる学校の生徒及び学生をいう。
- (2) 小人とは、小学校、中学校及びこれらに準ずる学校の児童及び生徒をいう。
- (3) 団体とは、30人以上で責任者が引率している場合をいう。ただし、30人未満であっても県内の小学校、中学校、高等学校及びこれらに準ずる学校の児童又は生徒を当該学校の教育職員が引率している場合は、団体とみなす。

### 歴史に憩う橿原市博物館管理運営に関する規則

令和4年3月31日規則第31号

(趣旨)

第1条 この規則は、歴史に憩う橿原市博物館条例(平成25年橿原市条例第30号。以下「条例」という。)第9条の規定に基づき、歴史に憩う橿原市博物館(以下「博物館」という。)の管理運営について必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 博物館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、入館は、午後4時30分までとする。  
2 前項の規定にかかわらず、市長が必要と認めるときは、博物館の開館時間を臨時に変更することができる。

(休館日)

第3条 博物館の休館日は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 月曜日(月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」

という。)に当たる場合は、その日以後で最も近い休日でない日)

(2) 1月1日から同月4日まで及び12月27日から同月31日まで

2 前項の規定にかかわらず、市長が必要と認めるときは、博物館を臨時に開館し、又は休館することができる。

(遵守事項)

第4条 博物館に入館する者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 所定の場所以外に博物館備付けの図書を持ち出さないこと。
- (2) 所定の場所以外で飲食をしないこと。
- (3) 館内で喫煙し、又は火気を使用しないこと。
- (4) 許可を受けずに物品の販売、展示その他営利行為をしないこと。
- (5) 許可を受けずに印刷物、ポスター等を配布し、又は掲示しないこと。
- (6) その他管理上必要な係員の指示に従うこと。

(観覧料の徴収等)

第5条 条例第7条第1項の観覧料は、観覧券(様式第1号)の発行により徴収する。

2 市長が特に必要と認めるときは、前項の観覧券に代えて別の様式を定め、これにより観覧料を徴収することができる。

(観覧料の減免)

第6条 条例第7条第2項第1号の規定に該当する者は、観覧料の5割に相当する額を免除するものとする。

2 条例第7条第2項第2号の規定に該当する者及びその免除の割合は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 市内に居住する又は市内の学校等に通学等をする条例別表備考第2号に規定する小人で土曜日に入館するもの 10割
- (2) 教育上の目的のために、園児、児童、生徒又は学生を引率して入館する学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する学校の教職員 10割
- (3) 教育上の目的のために、児童を引率して入館する児童福祉法(昭和22年法律第164号)第6条の3第2項に規定する放課後児童健全育成事業に従事する職員 10割
- (4) 教育上の目的のために、幼児又は児童を引率して入館する児童福祉法第7条第1項に規定する児童福祉施設の職員 10割
- (5) 公の目的で入館する国、地方公共団体その他公共団体又は公共的団体の職員 10割
- (6) 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める者 市長が別に定める割合

(優待券等)

第7条 市長が特に必要があると認めるときは、優待券又は招待券を発行することができる。

(館外貸出し)

第8条 博物館が所蔵する条例第1条に規定する資料(以下「資料」という。)の館外貸出しを受けようとする者は、次に掲げる事項を記載した資料館外貸出し許可申請書を市長に提出し、その許可を受けなければならない。

- (1) 申請者(代表者)の住所及び氏名
- (2) 借用資料の名称
- (3) 借用目的
- (4) 借用期間

2 市長は、前項の資料館外貸出し許可申請書の提出を受けた場合において、当該申請者が次の各号のいずれかに該当し、かつ、当該館外貸出しが博物館の業務に支障がないと認めるときは、必要な条件を付して前項

の許可をすることができる。

(1) 博物館法（昭和26年法律第285号）第11条の規定による登録を受け、又は同法第31条第1項の規定による指定を受けた施設

(2) 前号に掲げるもののほか、市長が適当と認めるもの

3 市長は、第1項の許可をしたときは、資料館外貸出許可書（様式第2号）を当該申請者に交付するものとする。

4 第1項の許可の期間は、3月を超えることができない。ただし、市長が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

（館外貸出しの許可の取消し）

第9条 市長は、前条第1項の許可を受けた者が虚偽の申請により許可を受けたとき、又は同条第2項の条件若しくは市長の指示に従わないときは、その許可を取り消すことができる。

（資料の撮影等）

第10条 博物館が所蔵する資料の撮影等の行為をしようとする者は、次に掲げる事項を記載した資料撮影等許可申請書を市長に提出し、その許可を受けなければならない。ただし、市長がその申請を不要と認めた場合は、この限りでない。

(1) 申請者（代表者）の住所及び氏名

(2) 撮影資料の名称

(3) 撮影目的

2 市長は、前項の許可をしたときは、資料撮影等許可書（様式第3号）を当該申請者に交付するものとする。

（寄贈）

第11条 博物館に資料を寄贈しようとする者は、次に掲げる事項を記載した資料寄贈申請書を市長に提出し、その承認を受けなければならない。ただし、市長がその申請を不要と認めた場合は、この限りでない。

(1) 申請者（代表者）の住所及び氏名

(2) 資料の名称及び点数

2 市長は、前項の規定により寄贈を承認した資料の引渡しを受けたときは、資料受領書（様式第4号）を、当該寄贈をした者に交付するものとする。

（損害の賠償）

第12条 博物館の施設又はその附属設備、備品、資料等を汚損し、損傷し、又は滅失した者は、市長の指示するところに従い、これを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

（委任）

第13条 この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

（施行期日）

第1条 この規則は、令和4年4月1日から施行する。

（経過措置）

第2条 この規則の施行前に歴史に憩う榎原市博物館管理運営に関する規則（平成25年榎原市教育委員会規則第8号）の規定によりなされた行為又は手続は、この規則の相当する規定によりなされた行為又は手続とみなす。

附 則（令和5年2月2日規則第3号）

この規則は、令和5年4月1日から施行する。

様式第1号（第5条関係）

観覧券

歴史に憩う榎原市博物  館  観覧券  No.	歴史に憩う榎原市博物館  観覧券  No.
---	-----------------------------------

歴史に憩う榎原市博物館  
観覧券

年 月 日

区 分	観覧人数	観覧料	金額
大 人	人	円	円
学 生	人	円	円
小 人	人	円	円
教職員等引率者	人	/	/
観覧人数合計	人	観覧料合計	円

所在地  
団体名  
代表者

様

上記の観覧料合計金額を領収しました。

領収日付印

第 号

年 月 日

資料等館外貸出し許可書

様

檀原市長 印

年 月 日付けで申請のあった資料等館外貸出しについては、次のとおり許可する。

品目	点数	備考
貸出しの場所		
期間		
許可条件		



第 号

年 月 日

資料等撮影許可書

様

檀原市長 印

年 月 日付けで申請のあった資料撮影等については、次のとおり許可する。

利用目的			
利用期間			
利用場所			
利用資料	資料名	数量	備考
許可条件			
備考			

第 号  
年 月 日

資料等受領書

様

檀原市

市長 印

あなたから歴史に憩う檀原市博物館へ寄贈された下記の資料等を受領しました。

品目	点数	期間	備考
その他			

歴史に憩う榎原市博物館 館報9 令和4年度

編集・刊行 歴史に憩う榎原市博物館

2024（令和6）年2月16日